

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧  
P.2-4

< 第29週 > ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第19週以降増加が続いている / その他最新動向



注目すべき感染症  
P.5-11

< インフルエンザ > 沖縄県における夏季を中心としたインフルエンザの再流行は、3シーズン連続してみられている  
< 百日咳 > 2007年の週別の定点当たり報告数は、2001年以降の過去5年間の同時期と比較して高い場合が多くなっている



病原体情報  
P.12-15

ヘルパンギーナ患者から検出されているウイルス 2007年 / ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2007年 / 麻疹ウイルス 2007年



速報  
P.16-17

ヘルパンギーナと手足口病からのA群コクサッキーウイルス検出状況、2007年7月現在 - 佐賀県 / 2007年高知県におけるヘルパンギーナ患者からのA群コクサッキーウイルス6型(CA6)分離状況



海外感染症情報  
P.18

エジプトでの鳥インフルエンザ流行状況 / アンゴラおよびコンゴ民主共和国でのポリオ流行



感染症の話  
P.19

< 今週はお休みです >



読者のコーナー  
< 今週は該当記事はありません >



グラフ総覧(29週)  
P.20-26



29週のデータ  
P.27-39



# 発生動向総覧

2007年4月からの法改正に伴い、疾病の追加および並び順を一部変更しました。

## <第29週コメント> 7月25日集計分

### 全数報告の感染症

注意:これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が集計の期日以降に届くこともあります。それらについては一部を除いて発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。

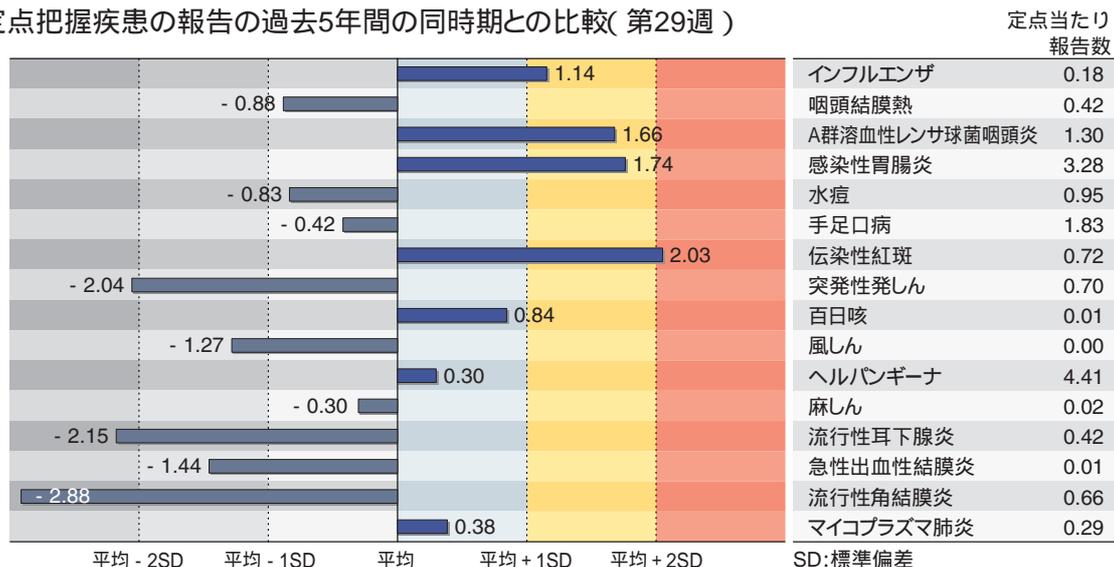
感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを示します。

- 1類感染症: 報告なし
  - 2類感染症: 結核 204例
  - 3類感染症: 細菌性赤痢 11例(感染地域: 広島県8例\*、中国2例、フィリピン1例)
    - \*保育園における集団発生
    - 腸管出血性大腸菌感染症 118例(うち有症者82例、うちHUS 4例)
    - 感染地域: すべて国内
    - 国内の多い感染地域: 大阪府18例\*、東京都13例、兵庫県9例、神奈川県6例、千葉県6例
    - \*うち5例は保育園における集団発生
    - 年齢群: 10歳未満(42例)、10代(7例)、20代(22例)、30代(13例)、40代(10例)、50代(12例)、60代(4例)、70歳以上(8例)
    - 血清型・毒素型: O157 VT1・VT2(48例)、O157 VT2(38例)、O26 VT1(12例)、O111 VT1(5例)、O103 VT1(2例)、O103 VT1・VT2(2例)、O18 VT2(1例)、O145 VT2(1例)、O157 VT1(1例)、その他/不明(8例)
  - 4類感染症: つつが虫病 1例(感染地域: 青森県)
    - デング熱 2例(感染地域: カンボジア1例、スリランカ1例)
    - 日本紅斑熱 2例(感染地域: 和歌山県1例、鹿児島県1例)
    - マラリア 1例(三日熱\_感染地域: インドネシア)
    - レジオネラ症 18例(すべて肺炎型)
      - 年齢群: 50代9例、60代6例、70代2例、80代1例
      - 感染地域: 静岡県3例(うち1例温泉)、埼玉県2例、愛媛県2例、北海道1例、秋田県1例、福島県1例、群馬県1例、東京都1例、宮城県1例、長野県1例、福井県1例、兵庫県/奈良県1例、国内(都道府県不明)1例、中国1例
  - 5類感染症: アメーバ赤痢 6例(すべて腸管アメーバ症)
    - 感染地域: 国内5例、中国1例
    - 感染経路: 経口1例、性的接触2例(ともに同性間)、不明3例
    - ウイルス性肝炎 3例
      - B型2例\_感染経路: 性的接触1例(同性間)、感染者の介護1例
      - C型1例\_感染経路: 不明
    - 急性脳炎 1例(病原体不明、50代)
    - クロイツフェルト・ヤコブ病 2例(ともに孤発性プリオン病古典型)
    - 後天性免疫不全症候群 14例(AIDS 6例、無症候7例、その他1例)
      - 感染地域: 国内11例、タイ2例、ブラジル1例
      - 感染経路: 性的接触11例(異性間7例、同性間3例、異性間/同性間1例)、不明3例
    - 梅毒 9例(早期顕症I期3例、早期顕症II期1例、無症候5例)
    - 破傷風 1例(60代)
    - バンコマイシン耐性腸球菌感染症 2例
      - (遺伝子型: VanC 1例\_菌検出検体: 血液、遺伝子型: 不明1例\_菌検出検体: 便)
- (補)他に報告遅れとして、細菌性赤痢4例(感染地域: 東京都1例、インドネシア1例、インド1例、南アフリカ1例)、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例(40代)、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例(遺伝子型: 不明\_菌検出検体: 尿)等の報告があった。

## 定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

定点把握疾患の報告の過去5年間の同時期との比較(第29週)



当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)との差をグラフ上に表現した。

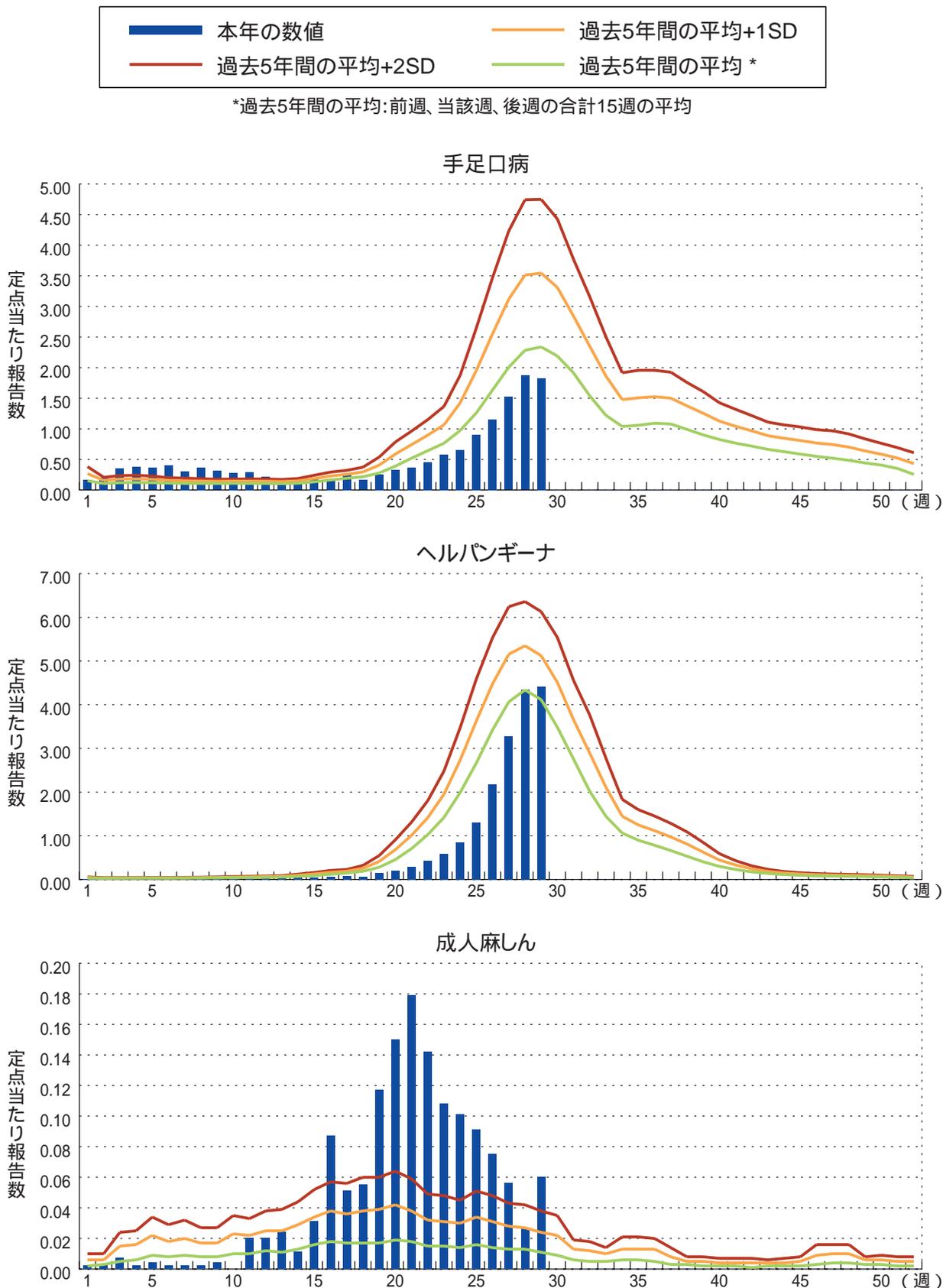
**インフルエンザ**: 定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別では沖縄県(12.10)、宮崎県(0.32)、福島県(0.30)が多い。

**小児科定点報告疾患**: RSウイルス感染症は145例の報告があり、報告数は減少した。年齢別では、1歳以下の報告数が全体の約72%を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別では埼玉県(0.90)、滋賀県(0.81)、長野県(0.76)、青森県(0.71)が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は第23週以降減少が続いているが、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では埼玉県(2.6)、山形県(2.1)、北海道(2.1)、茨城県(2.0)が多い。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は第21週以降減少が続いているが、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では大分県(7.3)、福井県(6.6)、滋賀県(4.8)、宮崎県(4.8)が多い。水痘の定点当たり報告数は25週以降減少が続いている。都道府県別では宮城県(1.8)、長野県(1.5)、福井県(1.5)が多い。手足口病の定点当たり報告数は微減した。都道府県別では和歌山県(13.7)、福島県(6.7)、福岡県(4.8)、熊本県(4.4)が多い。伝染性紅斑の定点当たり報告数は3週連続で減少したが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では長野県(3.8)、新潟県(2.5)、宮城県(2.4)が多い。百日咳の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では栃木県(0.06)、静岡県(0.05)、京都府(0.05)、徳島県(0.04)が多い。風しんの報告数は10例と微増した。都道府県別では京都府、大阪府、福岡県、大分県から各2例、茨城県、岡山県から各1例の順であった。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第19週以降増加が続いている。都道府県別では三重県(9.8)、宮崎県(8.6)、徳島県(8.4)、兵庫県(8.4)が多い。麻疹の報告数は減少し、21都道府県から64例の報告があった。都道府県別では大阪府15例、埼玉県、神奈川県、福岡県から各7例、東京都5例、静岡県3例、青森県、宮城県、茨城県、奈良県、広島県から各2例の順であった。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別では宮崎県(1.03)、愛媛県(0.97)、大分県(0.94)が多い。

**基幹定点報告疾患**: マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では沖縄県(2.6)、福島県(2.0)、宮城県(1.3)が多い。成人麻疹の報告数は増加し、15都道府県から28例の報告があった。都道府県別では、福岡県6例、宮城県、東京都、神奈川県から各3例、千葉県、大阪府から各2例、北海道、岩手県、秋田県、山形県、群馬県、埼玉県、新潟県、愛知県、広島県から各1例の順であった。

(補)風しん(茨城県)および麻疹(京都府)の報告は修正予定であり、これをふまえてコメントしている。

図. 主要定点把握疾患の過去5年間との週別比較(2007年第1~29週)  
 青のバーで示す本年の定点当たり報告数が赤のラインを超えているときには、過去5年間の週と比較してかなり多いことを示す。





# 注目すべき感染症

## インフルエンザ

インフルエンザ( Influenza )は、インフルエンザウイルスの感染による急性の呼吸器感染症である。感染を受けてから1～3日間の潜伏期間を経て、発熱( 38 以上の高熱 ) 頭痛、全身倦怠感、筋肉痛・関節痛などが突然出現し、咳・鼻水などの上気道炎症状がこれに続き、1週間前後の経過で軽快するのが典型的なインフルエンザの症状であり、いわゆる「かぜ」と比べて全身症状が強い。高齢者では超過死亡の原因として知られている二次性の細菌性肺炎、小児では発症率は低いものの生命に関わる可能性のあるインフルエンザ脳症等の合併症が知られている。例年わが国では冬季を中心に膨大な数の罹患者が発生しているが、最近では春季及び夏季の地域的な流行も観察されている。

感染症発生動向調査によると、今シーズン( 2006/07シーズン )のインフルエンザの流行は2007年の第3週( 定点当たり報告数1.06 )より開始し、そのピークは8週後の第11週( 定点当たり報告数32.94 )であった( 図1 )。その後患者発生数は全国的には一貫して低下していたが、北海道、東北地域では春期休暇明けの第15週より再流行がみられ、また沖縄県では患者発生報告数が大きく低下しないままに第21週以降再び増加し、第25週以降現在に至るまで定点当たり報告数が10.0を超えた状態が継続しているのは、昨シーズンと同様である。特に、沖縄県における夏季を中心としたインフルエンザの再流行は、2004/05シーズン以降3シーズン連続してみられている現象である( 図2 )。全国約4,800カ所のインフルエンザ定点医療機関からの第29週のインフルエンザ定点当たり報告数は0.18( 報告数815 )となり、前週の0.21よりも低下がみられた( 図1 )。都道府県別では、沖縄県( 12.10 )、宮崎県( 0.32 )、福島県( 0.30 )、宮城県( 0.18 )、岩手県( 0.08 )、熊本県( 0.08 )の順であり、沖縄県の報告数が突出した状況が続いている( 図3 )。2006年第36週以降これまでの定点医療機関からの定点当たり累積報告数は230.36( 総患者累積報告数1,074,364 )であり、都道府県別では沖縄県( 449.17 )、宮崎県( 390.39 )、福岡県( 346.00 )、大分県( 331.66 )、新潟県( 304.45 )、愛知県( 297.43 )、福井県( 292.78 )の順となっており、シーズン全体を通してみると九州及び中部地域での流行が比較的大きかった( 図4 )。累積報告数の年齢別割合では、5～9歳32.1%、0～4歳21.5%、10～14歳20.4%の順となっている( 図5 )。

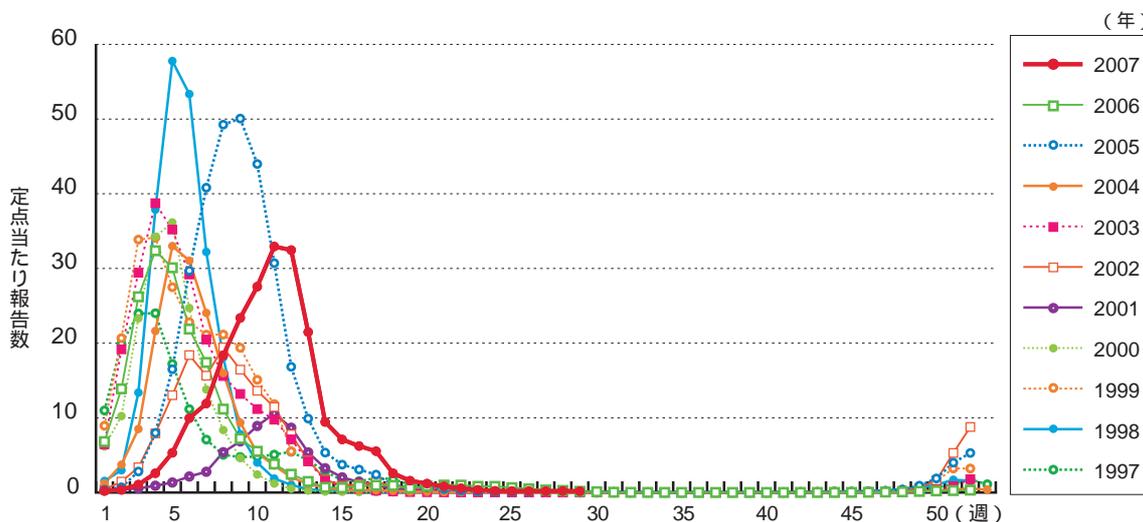


図1. インフルエンザの年別・週別発生状況( 1997年～2007年第29週 )

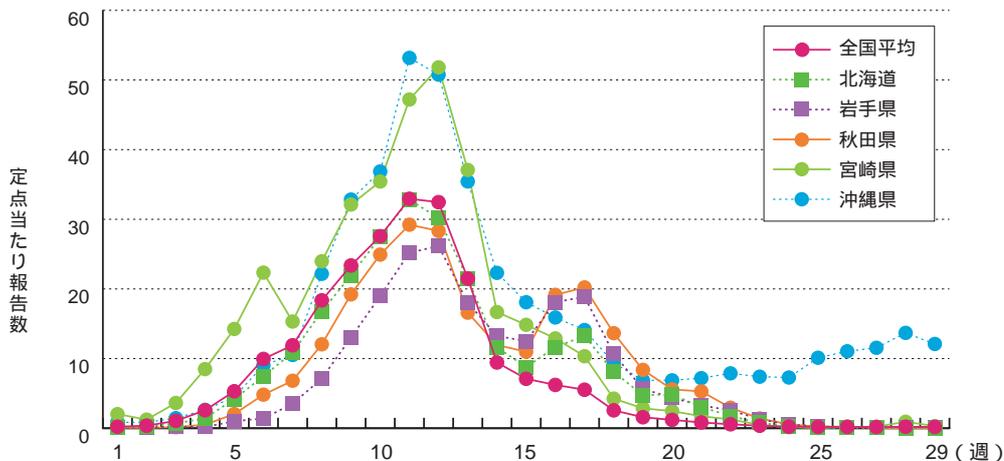


図2. インフルエンザの報告の週別推移( 2007年第1 ~ 29週 )

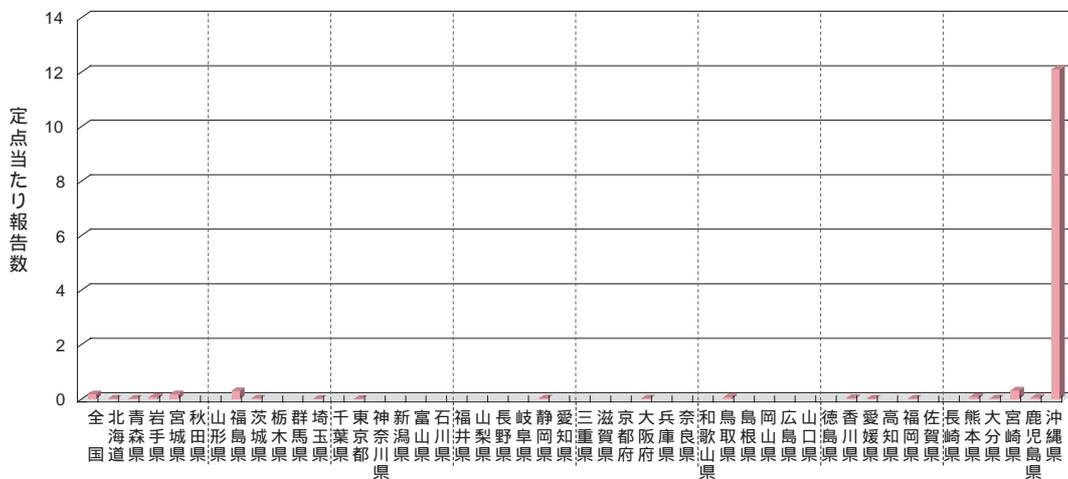


図3. インフルエンザの都道府県別報告状況( 2007年第29週 )

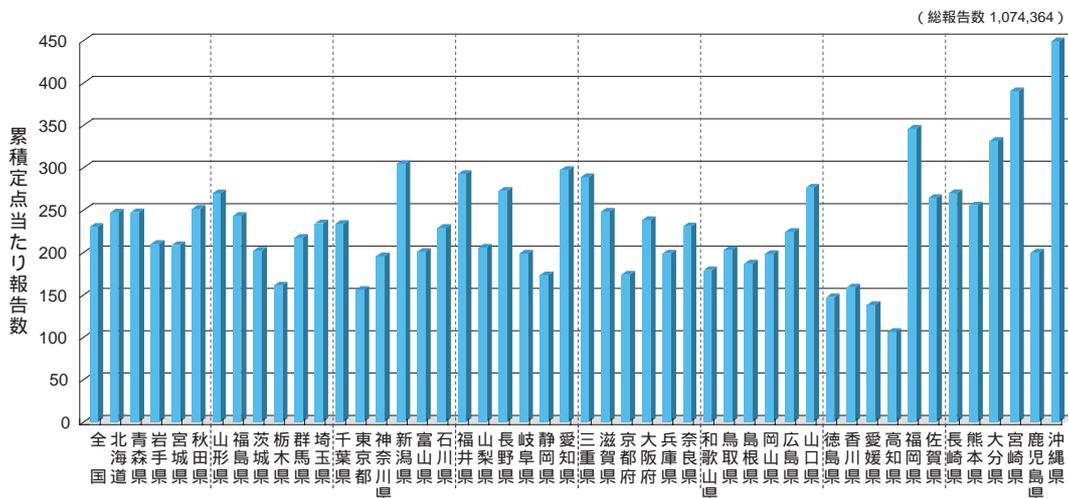


図4. 2006/07シーズンのインフルエンザの都道府県別累積報告状況( 2006年第36週 ~ 2007年第29週 )

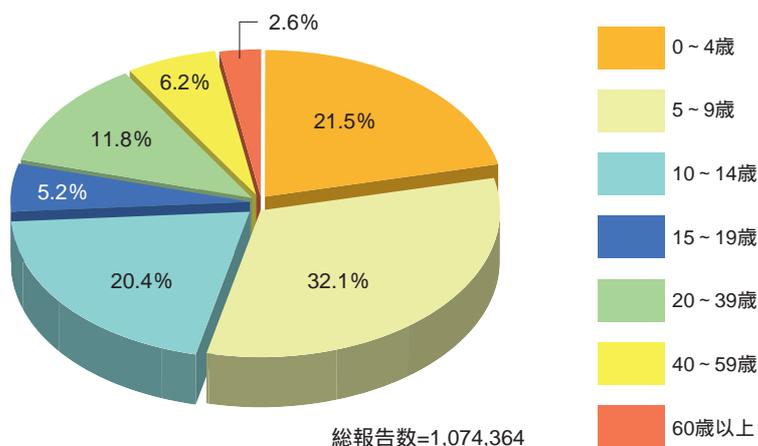


図5. インフルエンザの報告症例の年齢群別割合( 2006年第36週 ~ 2007年第29週 )

2006年第36週以降これまでに全国の衛生研究所から報告されたインフルエンザウイルス分離報告( 総報告数4,976 )では、AH1亜型( Aソ連型 )11.6%( 報告数577 )、AH3亜型( A香港型 )47.6%( 報告数2,370 )、B型40.8%( 報告数2,029 )であり、AH3亜型とB型を合わせた分離報告割合が90%近くを占めている( 図6 )。また、沖縄県では第21週以降に20件のウイルス分離報告があり、ウイルス型別ではそれぞれAH1亜型8、AH3亜型3、B型9の報告数となっている。

今シーズンのインフルエンザの流行は2007年第3週より開始し、第11週にピークを迎え( 定点当たり報告数32.94 )、その後全国的には報告数の減少が続いたが、第15週以降に北海道、東北地域で春季の流行の再燃がみられ、また第21週以降には沖縄県で夏季の流行がみられている。これら春季、夏季のインフルエンザの地域的な流行は今シーズンだけの現象ではなく、わが国においてもインフルエンザの流行の時期は冬季を中心とした限定的なものであると考えるべきではない。次シーズン以降も、特に多くの学校等が夏期休暇に入るまでの期間は、インフルエンザの発生動向には注意が必要であると思われる。

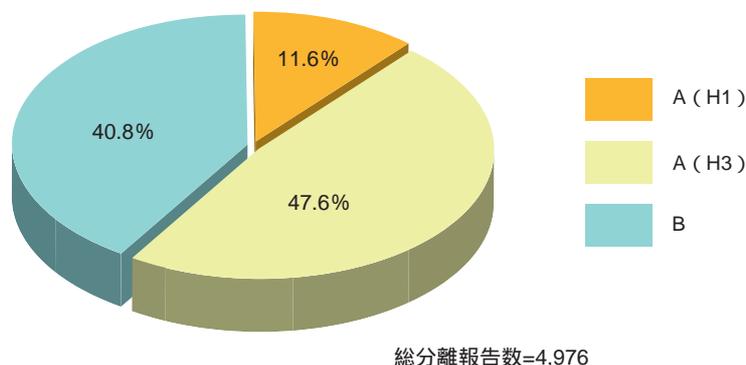


図6. インフルエンザウイルス分離報告割合( 2006年第36週 ~ 2007年第29週 )

## 百日咳

百日咳は、好気性のグラム陰性桿菌である百日咳菌 (*Bordetella pertussis*) の感染を原因とする急性の呼吸器感染症である。特有のけいれん性の咳発作( 痙咳発作 ) を特徴としており、母親からの移行抗体が有効に働かないために乳児期早期から罹患する可能性があり、ことに生後6カ月以下では死に至る危険性がある疾患である。

通常は感染後7~10日間の潜伏期間を経て発症するが、臨床経過は( 1 )カタル期、( 2 )痙咳期、( 3 )回復期の3つに分けられている。以下にそれぞれの経過について記す。

- ( 1 )カタル期( 1~2週間 ): 感冒様症状で始まり、合併症がない限り発熱はない。次第に咳が増強して1~2週のうちに痙咳期に移行していく。初期は感染力が強い。
- ( 2 )痙咳期( 2~3週間 ): 次第に特徴ある発作性痙攣性の咳( 痙咳 ) となる。短い咳が連続的に発生し( スタッカート )、続いて息を吸い込む時に笛のようなヒューという音が出る( 笛声: Whoop )。このような咳嗽発作が繰り返され、しばしば嘔吐を伴う。発作は夜間に多く、この時期には息を詰めて咳をするために顔面は浮腫状となり、いわゆる百日咳様顔貌がみられる。幼若乳児ではこのような特徴的な痙咳発作を示さずに、無呼吸発作からチアノーゼ、けいれん、呼吸停止へと進展する場合がある。また、乳児では合併症として肺炎の他に脳症を発症することがあり、予後不良であるため要注意である。
- ( 3 )回復期( 2、3週間以上 ): 痙咳期が2~3週間続いた後、激しい発作や嘔吐は次第に減弱して回復期に移行するが、時折発作性の咳嗽がみられ、全経過2~3カ月で治癒に至る。

なお、成人の百日咳では咳が長期にわたって持続するが、典型的な発作性の咳嗽を示すことはなく、やがて回復に向かう場合が多いが、症状が典型的ではないために診断が見逃されやすく、感染源となって周囲へ感染を拡大してしまうこともあり、注意が必要である。

百日咳の治療薬としての抗生物質はマクロライド系抗菌薬が第一選択であるが、セフェム系が処方されることもある。早期に抗菌薬を処方すれば、症状の軽減と菌排出期間( 無治療の場合は3週間前後 ) の短縮が期待できる。主な感染経路は発症患者の鼻咽頭や気道分泌物による飛沫感染と接触感染である。

わが国では、現在百日咳に対する予防として、乳幼児に対して広く百日咳( P )ワクチンを含んだDPT3種混合ワクチンが実施されているが、1950年にこの百日咳ワクチンが開始されるまでは、年間10万例以上の患者発生報告があり、その約10%が死亡していた。ワクチンの普及と共に百日咳の発生数は激減しているが、未だ発病者があり、また発展途上国を中心に現在も世界各国で流行がみられている。予防接種法の改正により、1994年10月からはそれまで2歳であったDPTワクチンの接種開始年齢が生後3カ月に引き下げられたために、患者報告数は更に減少した。しかしながら、今後ワクチン接種率が低下するようになると、再び流行する可能性は十分にあると思われ、接種率を高く維持することが重要である。

感染症発生動向調査によると、2007年の百日咳の週別の定点当たり報告数は、2001年以降の過去5年間の同時期と比較して高い場合が多くなっている( 図1 )。2000年~2006年の過去6年間の累積患者報告数では、2000年の報告数が3,804と最も多く、次いで2004年( 2,189 )、2001年( 1,760 )の順であり、2000年と2004年以外では報告数は全て2,000以下となっている( 図2 )。しかしながら2000年以降2007年までの各年の第29週までの累積報告数を比較すると、2007年の報告数1,197は、2000年の報告数2,289に次ぐ値となっており、2001年以降では最も報

告数が多い( 図3 )。2007年第29週までの定点当たり累積報告数を都道府県別にみると、栃木県( 1.91 )、千葉県( 1.53 )、沖縄県( 0.97 )、徳島県( 0.86 )、福岡県( 0.77 )の順となっており、特に栃木県、千葉県からの報告数が多くなっている( 図4 )。2000 ~ 2007年まで( 2007年は第29週まで )の年間の累積報告数の年齢別割合をみると、0歳児、1歳児を中心とした乳幼児からの報告割合は年々低下がみられている一方で、小児科定点からの報告ではあるものの、20歳以上の報告割合は年々増加しており、2007年では30.7%となっている( 図5、図6 )。

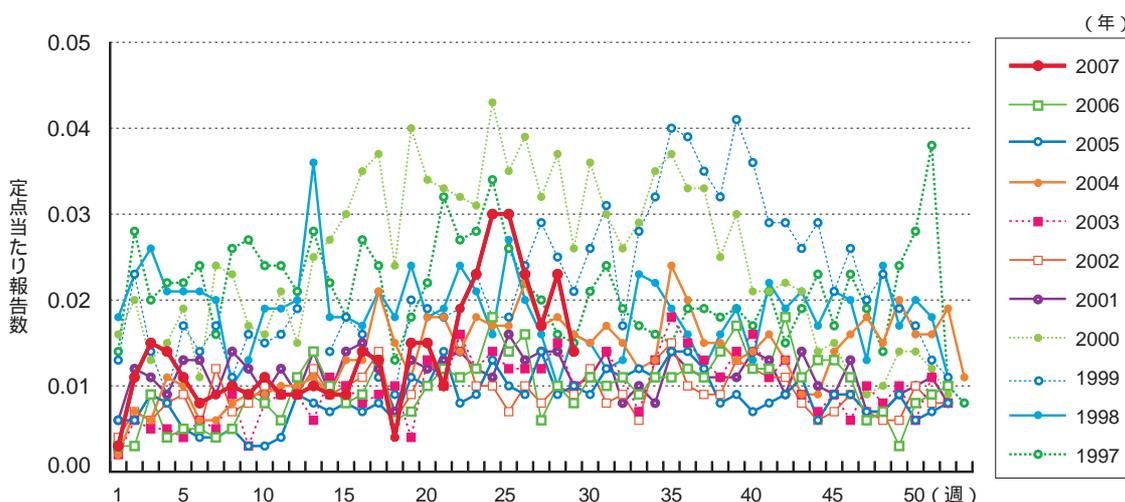


図1. 百日咳の年別・週別発生状況( 1997年 ~ 2007年第29週 )

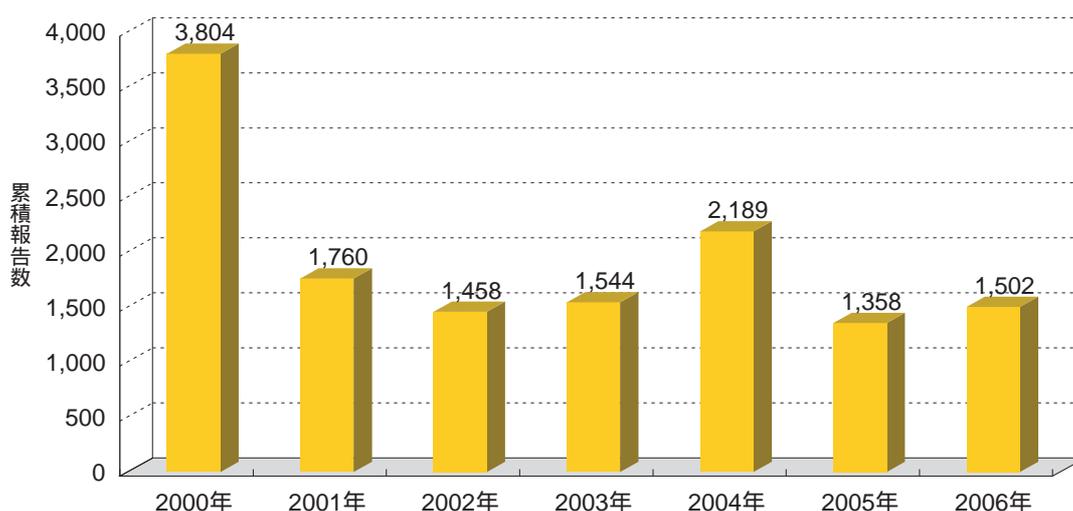


図2. 百日咳の累積報告数の年別推移( 2000 ~ 2006年 )

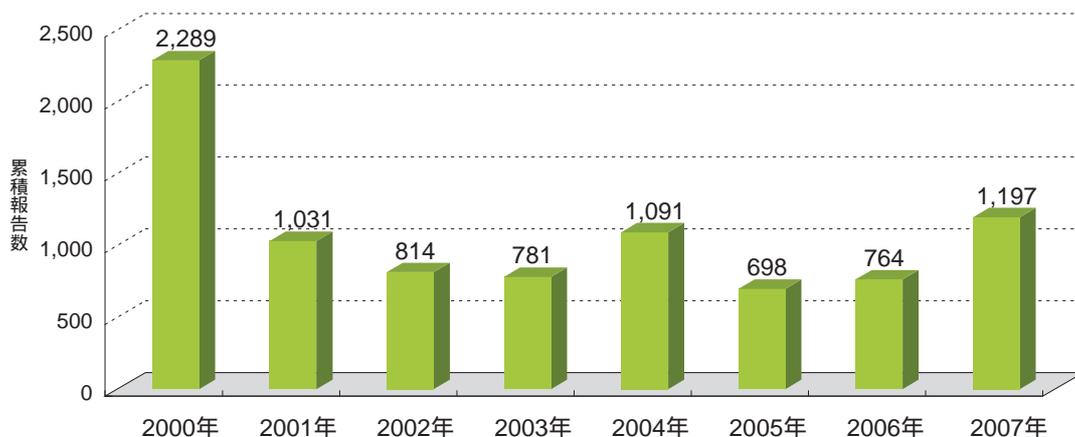


図3. 第1～29週までの百日咳の累積報告数の比較(2000～2007年)

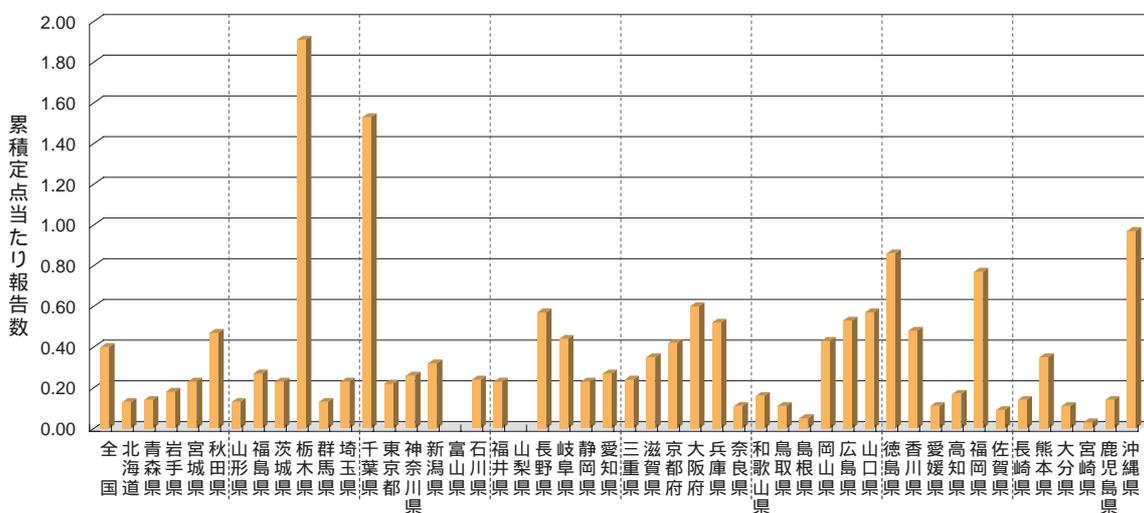


図4. 百日咳の都道府県別累積報告状況(2007年第1～29週)

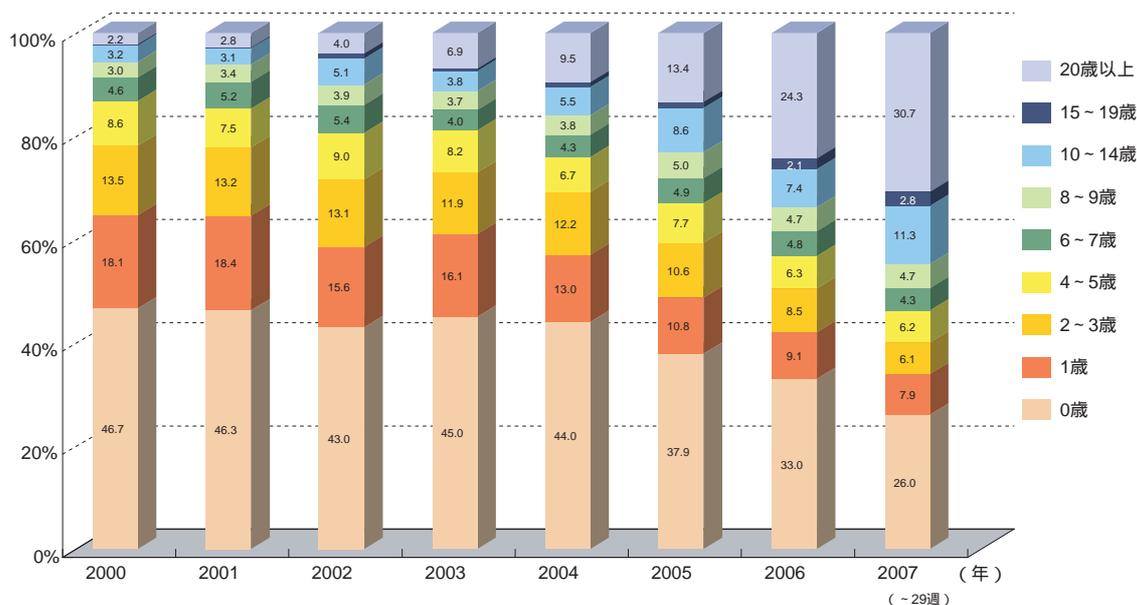


図5. 百日咳の報告症例の年別・年齢群別割合(2000年～2007年第29週)

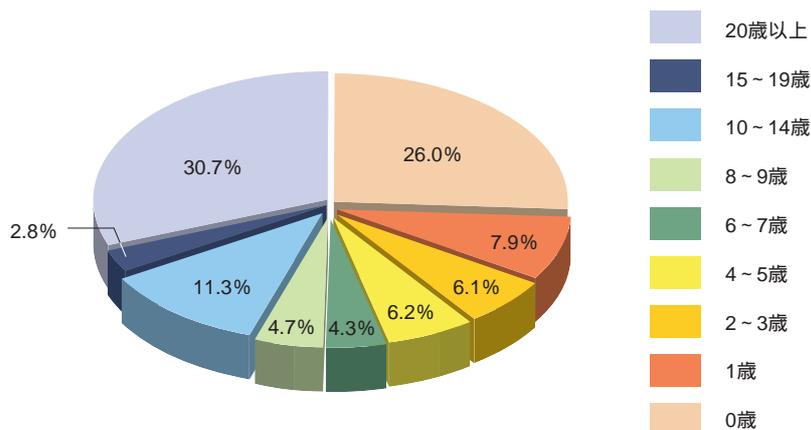


図6. 百日咳の報告症例の年齢群別割合(2007年第1週～29週)

DPTワクチンの普及により、百日咳の患者発生数はかつてに比べて大きく減少し、流行を示す明確なピークも認められないまでになってきているといわれている。しかしながら本調査結果にもみられるとおり、あまり典型的な症状を示さない年長児例や、小児科定点からの報告ではあるものの、成人例の報告割合が無視できないほどに増加してきている。最近みられた大学における百日咳の集団発生事例の発生は、この成人例の報告数の増加をある程度反映している可能性も考えられる。百日咳の発生動向の推移には、今後とも注意が必要であるが、小児科定点からの報告のみでは、特に15歳以上の年齢層の患者発生の推移を正確に把握することは困難であるといわざるを得ない。



## 病原体情報

\* グラフはIASRホームページ( <http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html> )からの引用です。

各都道府県市の地方衛生研究所( 地研 )からの検出報告です。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

( 2007年7月26日現在報告分 )

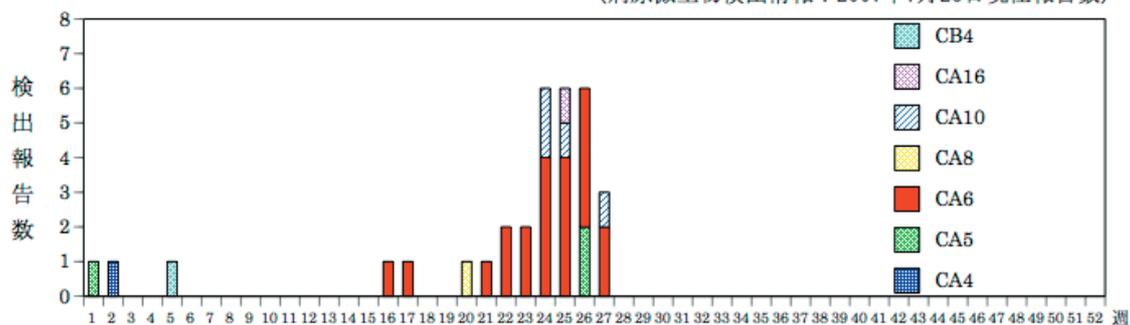
### ヘルパンギーナ患者から検出されているウイルス 2007年

A群コクサッキーウイルス6型( CA6 )21件、CA10が4件、CA5が3件、CA4、CA8、CA16、B群コクサッキーウイルス4型( CB4 )各1件の検出が報告されている。

CA6はヘルパンギーナ( 21件 )の他に、手足口病( 9件 )、上気道炎( 5件 )、感染性胃腸炎( 1件 )の患者からも検出されており、第24 ~ 25週に佐賀県8件( 本号16ページ速報参照 )、秋田県、島根県各2件、新潟県、愛知県各1件、第26 ~ 27週に高知県6件( 本号17ページ速報参照 )の検出が報告されている。

週別ヘルパンギーナ患者からの主なコクサッキーウイルス分離・検出報告数、2007年

( 病原微生物検出情報 : 2007年7月26日現在報告数 )



\* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



Infectious Agents Surveillance Report

### ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2007年

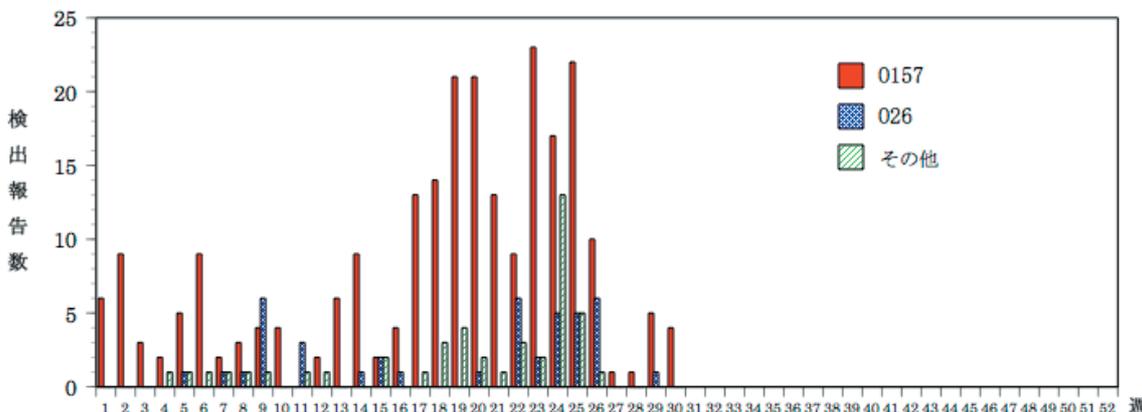
2007年の検出総数は331件で、O157が244件、O26が42件、その他の血清型が45件報告されている。

O157は石川県37件、千葉県28件、大阪府26件、富山県23件、群馬県、福岡県各19件、長野県、滋賀県各13件、宮城県、奈良県各8件など31道府県から、O26は千葉県8件、石川県6件、岩手県、宮城県、岐阜県各4件、富山県、福岡県各3件、栃木県、京都府、沖縄県各2件など14道府県から、その他の血清型は宮崎県15件、石川県5件、長野県4件、岩手県、千葉県、福岡県各3件、沖縄県2件など17都道府県から報告されている。

集団発生事例として、第5～6週に京都府から保育所でのO157:H7による1事例、第14週に石川県から飲食店でのO157:H7による2事例、第17週に奈良県から保育所でのO157:H7による1事例、第17～18週に新潟県から飲食店でのO157:H7による1事例、第19～20週に群馬県から飲食店でのO157:H7による1事例、第20～21週に東京都から学生食堂でのO157による1事例、第24～25週に宮崎県から高齢者施設でのO103:H11による1事例、第24～26週に富山県から飲食店でのO157:H7による1事例が報告されている。

週別Vero毒素産生性大腸菌分離報告数、2007年

(病原微生物検出情報：2007年7月26日現在報告数)

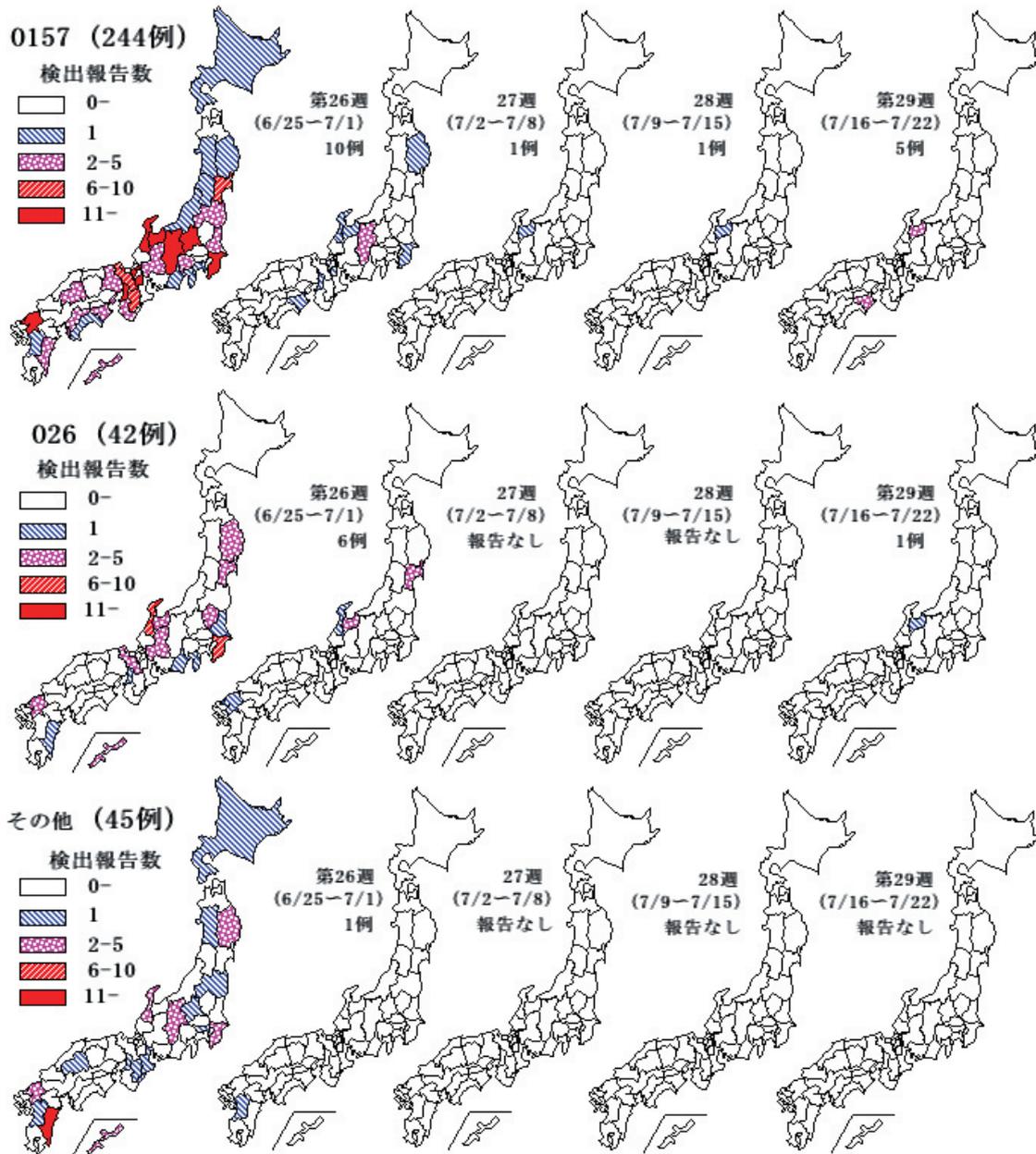


\*各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



Infectious Agents Surveillance Report

都道府県別Vero毒素産生性大腸菌分離報告状況、2007年  
(病原微生物検出情報: 2007年7月26日現在報告数)



\*各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を因に示した



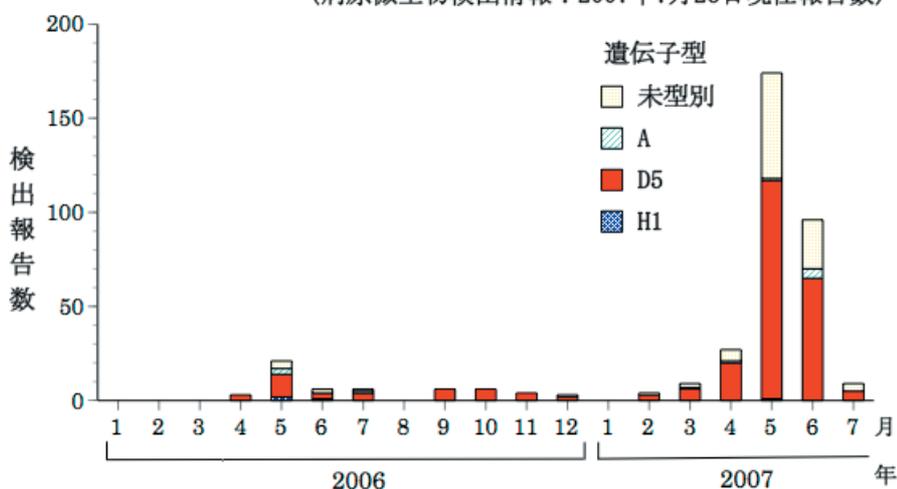
Infectious Agents Surveillance Report

### 麻疹ウイルス 2007年

2007年2～7月に北海道、秋田県、山形県、茨城県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、石川県、山梨県、愛知県、大阪府、兵庫県、島根県、岡山県、広島県、福岡県、佐賀県、熊本県、大分県、宮崎県、沖縄県の23都道府県から麻疹ウイルスの分離・検出が318件報告されている。遺伝子型別まで実施された224件中215件ではD5型が検出されており、他にはA型8件(ワクチン接種後2週間以内に採取された検体から)とH1型1件(中国から帰国して5日後に発症した患者から)が検出されている。

D5型は2006年4～7月に千葉県と茨城県、9～12月に沖縄県から報告されていた。

月別麻疹ウイルス分離・検出報告数、2006年1月～2007年7月  
(病原微生物検出情報：2007年7月26日現在報告数)

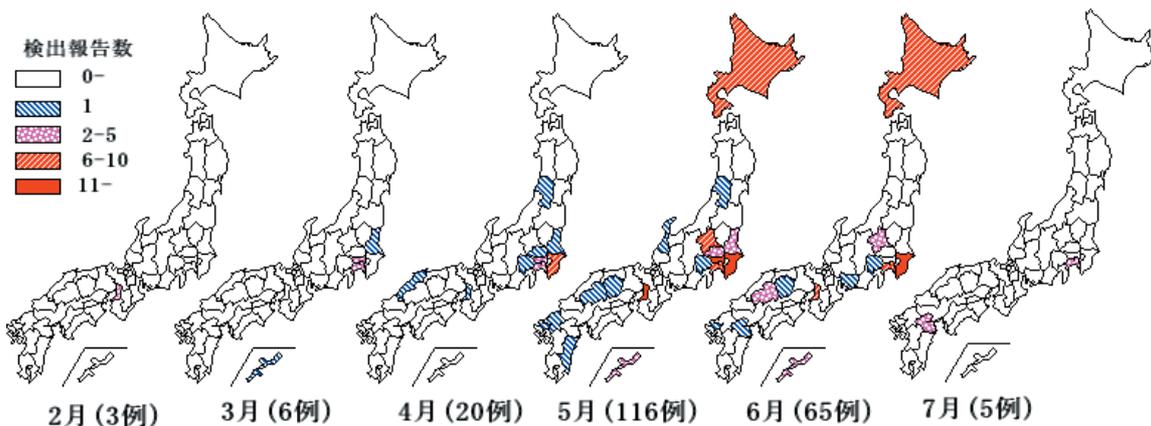


\*各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



### 月別都道府県別麻疹ウイルスD5型分離・検出報告状況、2007年

(病原微生物検出情報：2007年7月26日現在報告数)



\*各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した





## ヘルパンギーナと手足口病からのA群コクサッキーウイルス ス検出状況、2007年7月現在 - 佐賀県

2007年1月～7月中旬までの佐賀県感染症発生動向調査におけるエンテロウイルスの検出状況について、その概況を報告する。

この期間の定点週別報告によると、ヘルパンギーナは第23週(6/4～6/10)に定点当たり1.96人となり、第28週(7/9～7/15)には6.00人と増加している。一方、手足口病の週別患者報告数は、第2週(1/8～1/14)～第20週(5/14～5/20)まで定点当たり1.0人台の患者報告数であったが、第21週(5/21～5/27)には2.13人を示し、第27週(7/2～7/8)には5.09人とピークを迎え、これら患者数は例年に比べ多く、早い週から流行の兆しが見られた。

小児科定点医療機関でヘルパンギーナ、手足口病と診断された患者の臨床検体(鼻咽頭ぬぐい液)12件について、エンテロウイルスVP1領域のSeminested-PCRを行い、陽性検体の12件について遺伝子解析とBLAST検索を行った。

遺伝子解析の結果、ヘルパンギーナの6件中4件がA群コクサッキーウイルス6型(CA6)、他にCA4とCA16の各1件であった。手足口病は6件中5件がCA6で、1件はCA16であった。

VP1領域の296bpについて塩基配列を決定し相同性を比較した結果、CA6は9件中6件が100%一致し、3件は3～5塩基の違いを示し相同性は98～99%であった。CA16の2件は18塩基の違いを示し相同性は94%であった。

BLAST検索では、CA6の9件はすべて1278/CA6/Hyogo/1999[AB114111]に近縁で、相同性は93～94%であった。CA16の2件中1件は1018T/VNM/05[AM292441]に近縁で相同性は98%を示し、1件はS22852/SAR/02[AM292457]に近縁で相同性は95%であった。CA4の1件はCA4/80290/Hiroshima.JP/04[AB188508]に近縁で相同性は88%であった。また、手足口病の1検体はCA6とライノウイルス89型との重複検出例であった。

なお、PCRで陽性であった12件中11件は188/222および189/222のプライマーセットにおいて良好な遺伝子解析結果が得られた。

今回、ヘルパンギーナおよび手足口病患者より検出したA群コクサッキーウイルスの12件中11件は佐賀県東部地区からの検出例であった。また、患者は0歳～5歳の乳幼児に多いことから、乳幼児の保育施設などでの集団感染に注意する必要がある。

佐賀県衛生薬業センター

増本久人 平野敬之 坂本晃子 船津丸貞幸 武田裕二 藤原義行

(IASR 2007年8月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)

## 2007年高知県におけるヘルパンギーナ患者からのA群コクサッキーウイルス6型( CA6 )分離状況

2007年高知県のヘルパンギーナの定点当たりの届出数は、第27週まで例年同様( 1.0以下 )で推移していたが、第28週から2.0を超え、第29週には3.1と、過去最高であった昨年の定点当たりの届出数4.1 ~ 4.2( 第28週 ~ 30週 )に近づいた。地域別にみると、高知市、中央西、高幡地域での増加が認められた。今年、ヘルパンギーナと診断されて病原体検査定点から送られてきた検体は4 ~ 5月3検体、6月上旬 ~ 7月20日の間に18検体であったが、その患者年齢構成は2歳以下が8割を占めている。

当所でのヘルパンギーナ、手足口病の原因ウイルス分離はVero、HeLa、FL、LLC-MK2、RD-18Sの5種の細胞、RT-PCRおよび哺乳マウスを使った中和試験によって行っている。

今回はいずれの細胞にも明確なCPEが確認できなかったが、RT-PCRによって咽頭ぬぐい液中のA群コクサッキーウイルス( 以下CAと略 )を確認できたので、この検体に抗生物質を添加し遠心分離した上清50  $\mu$  lを国立感染症研究所からの抗血清数種各50  $\mu$  lで中和したものを哺乳マウス皮下に接種したところ、抗CA6血清で中和したものだけに発病阻止が起こり、CA6と同定できた。

7月20日までに搬入されたヘルパンギーナ患者の検体21検体中、RT-PCRで陽性となったものは17検体で、そのうち7検体を哺乳マウスを用いて中和試験を行ったところ、7検体すべてがCA6であった。残る10検体については現在同定中である。なお、RT-PCRで陰性となった4検体についても哺乳マウスに接種を行い、ウイルス分離中である。

また、今年の手足口病に関しては、Vero細胞による中和試験で2月までにエンテロウイルス71型を2検体同定しているが、6月以降に搬入された検体の中には細胞にCPEを示さず、RT-PCR陽性であるものが2検体ある。2005年に高知県ではCA6によるヘルパンギーナと手足口病の同時流行を経験しており、同定を急いでいる。今後の動向に注目したい。

高知県衛生研究所

戸梶彰彦 千屋誠造 細見卓司 谷脇 妙 松本道明 大野賢次 福永和俊

( IASR 2007年9月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照 )



## 海外感染症情報

\* 関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ( <http://www.forth.go.jp/> )をご覧ください。

### エジプトでの鳥インフルエンザ流行状況

WHO/EPR 2007年7月25日 - 更新19

エジプト保健人口省は、新たな鳥インフルエンザウイルスA/H5N1型感染患者1名を報告した。患者はDamietta行政区の25歳女性である。診断は、エジプト中央公衆衛生研究所およびWHOのH5レファレンスラボラトリーである米国海軍医学研究所Unit No.3( NAMRU-3 )での検査により確認された。患者は、7月20日に発症し、その翌日入院した。患者は現在治療中で、病状は安定している。患者の感染源に関する初期調査では、発症の1週間前に病鳥及び死んだ家禽からの曝露が示唆されている。

エジプトでは、現在までに感染が確認された38名の患者のうち15名が死亡している。

### アンゴラおよびコンゴ民主共和国でのポリオ流行

WHO/EPR 2007年7月30日

2007年7月25日に、コンゴ民主共和国のEquateur州で新たにポリオ患者4名が確認され、今年同国で発生した患者総数は27名になった。隣国のアンゴラでは、新規ポリオ患者2名の事前通報があり、2007年のアンゴラでの患者総数は8名となる見込みである。患者2名は、LuandaLuanda州およびBenguele州で発生した。

両国では同調して国境を越えた流行対策を継続している。大規模の追加予防接種活動が5歳未満の小児800万人以上を対象に、アンゴラ全土およびコンゴ民主共和国の流行地で、7月25日に開始された。さらに年内に予防接種キャンペーンが行われる予定である。

2005年には、インド起源のポリオウイルスがアンゴラで再興感染し、その後2006年にコンゴ民主共和国で感染拡大した。



## 感染症の話

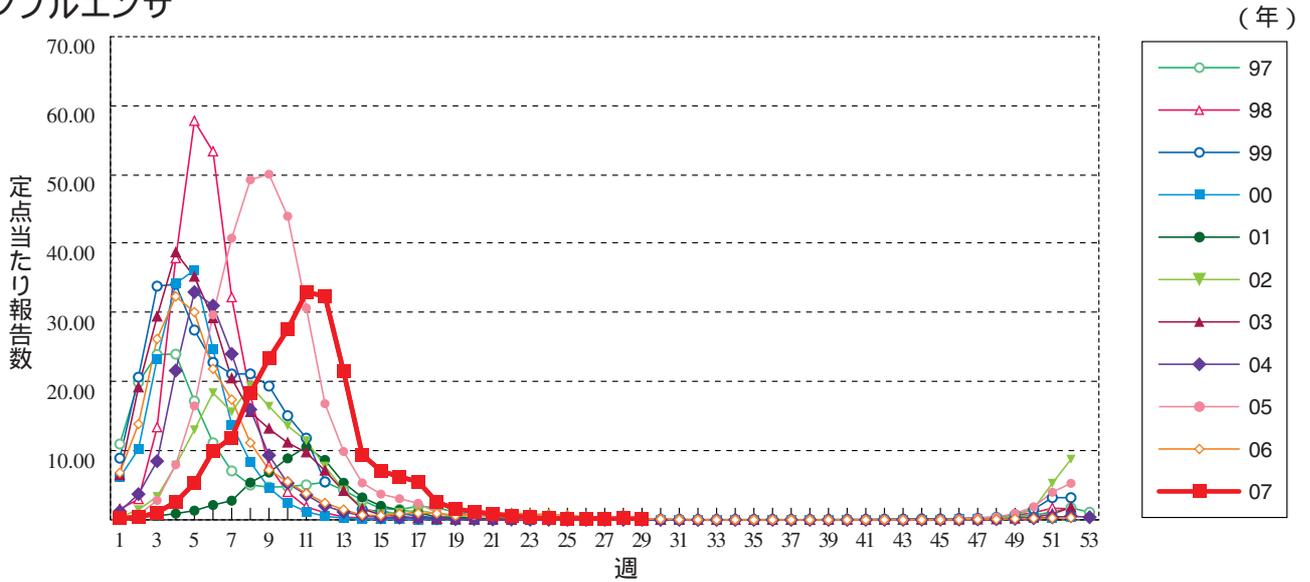
\*\*\*\*\*

今週はお休みさせていただきます。  
「感染症の話」過去の掲載分については  
<http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/index.html>  
でご覧いただけます。

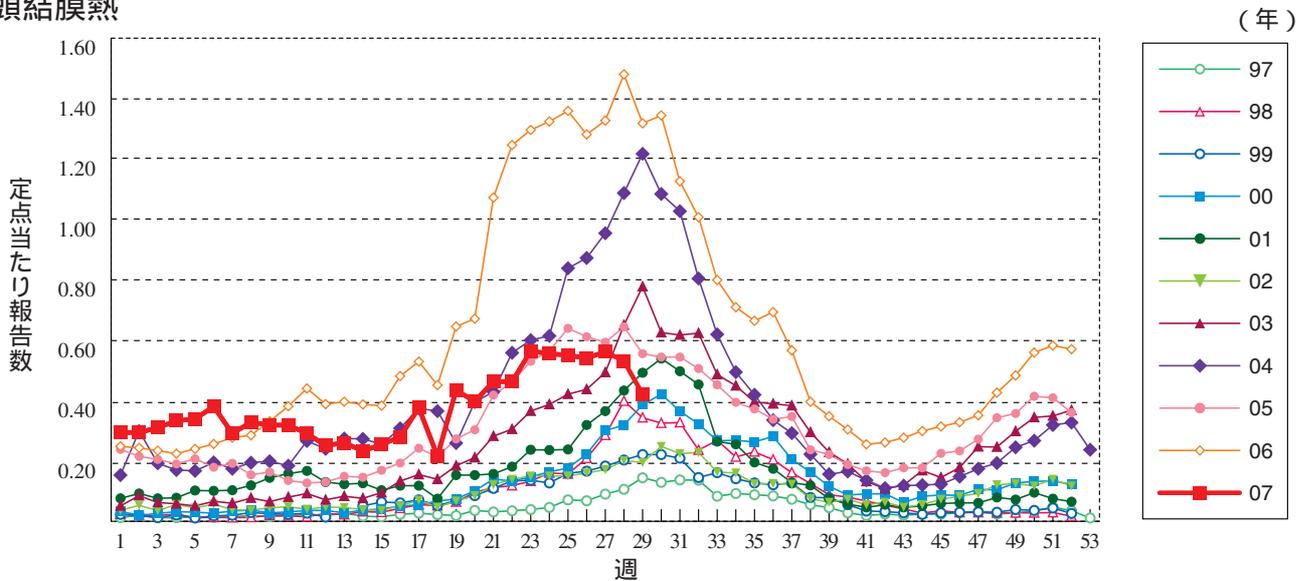
\*\*\*\*\*

**グラフ総覧(29週)**

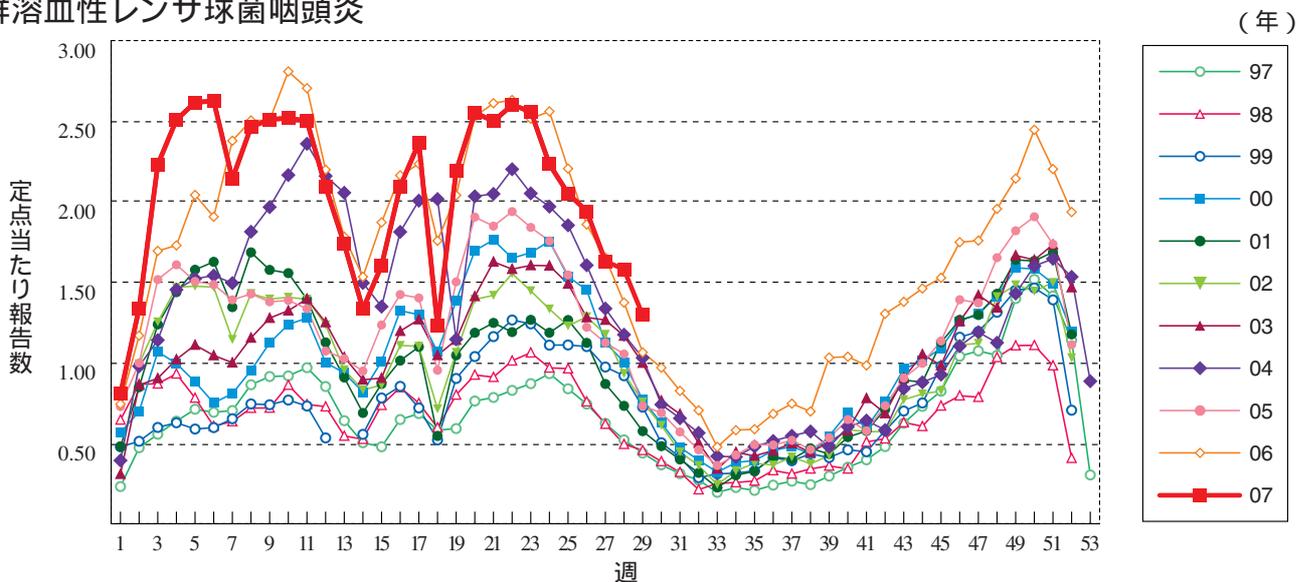
**インフルエンザ**



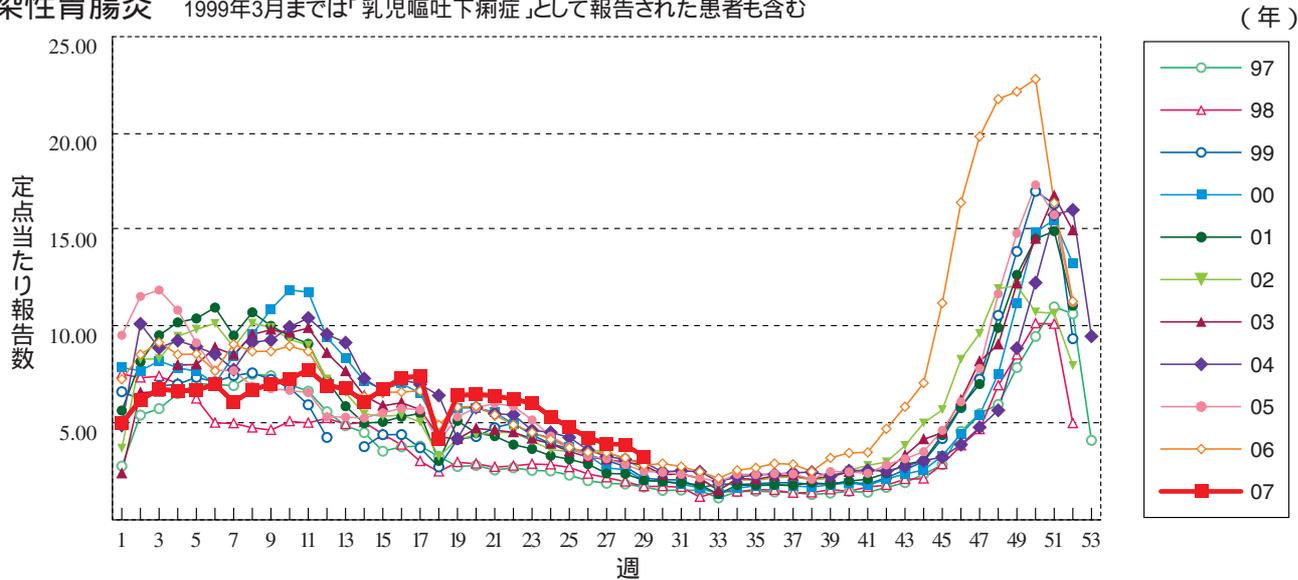
**咽頭結膜熱**



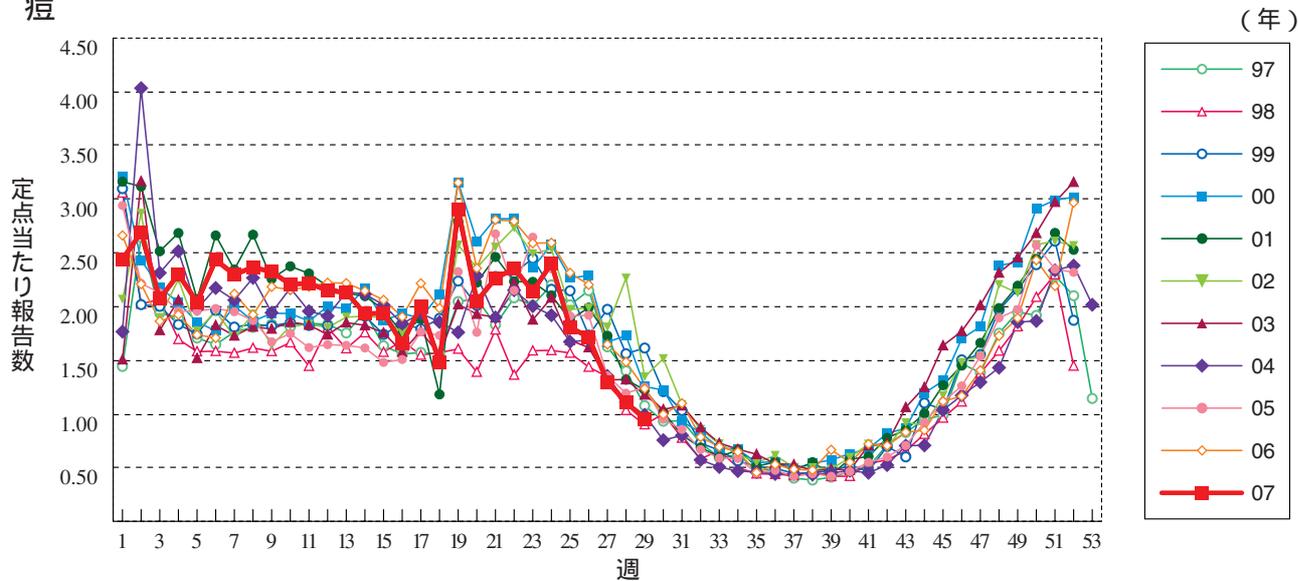
**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**



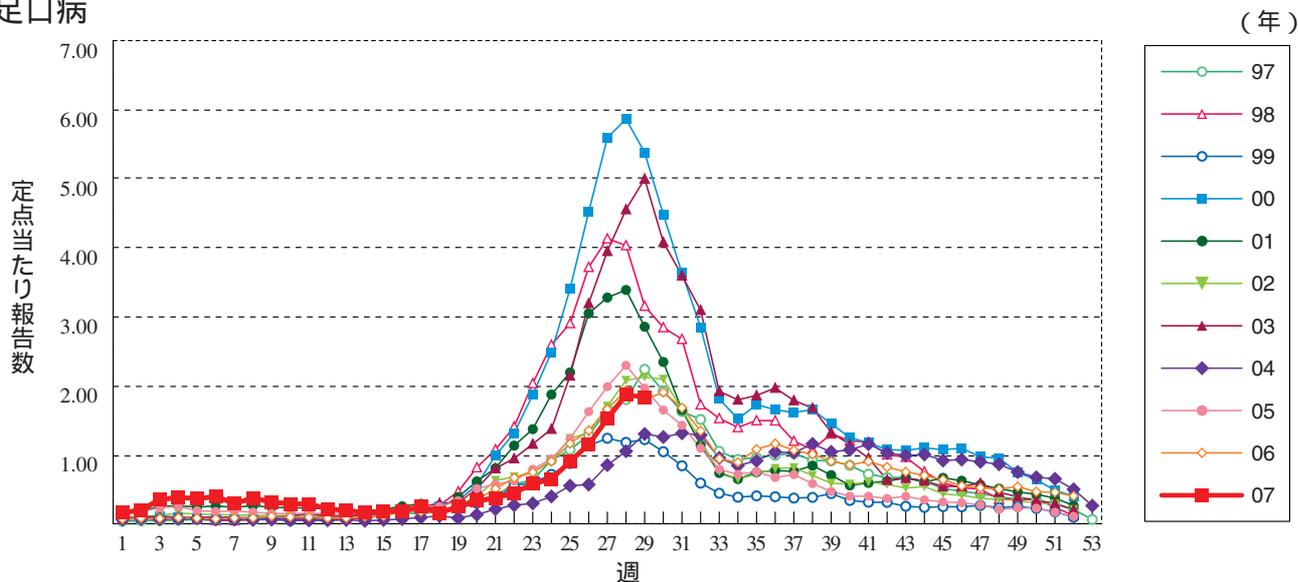
**感染性胃腸炎** 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



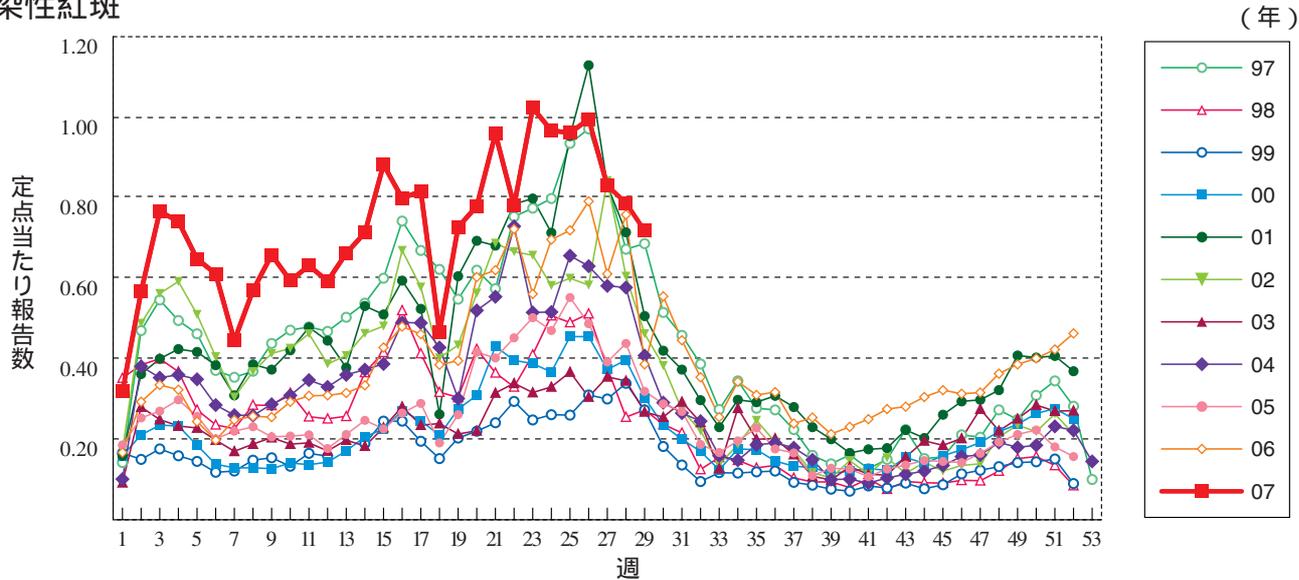
**水痘**



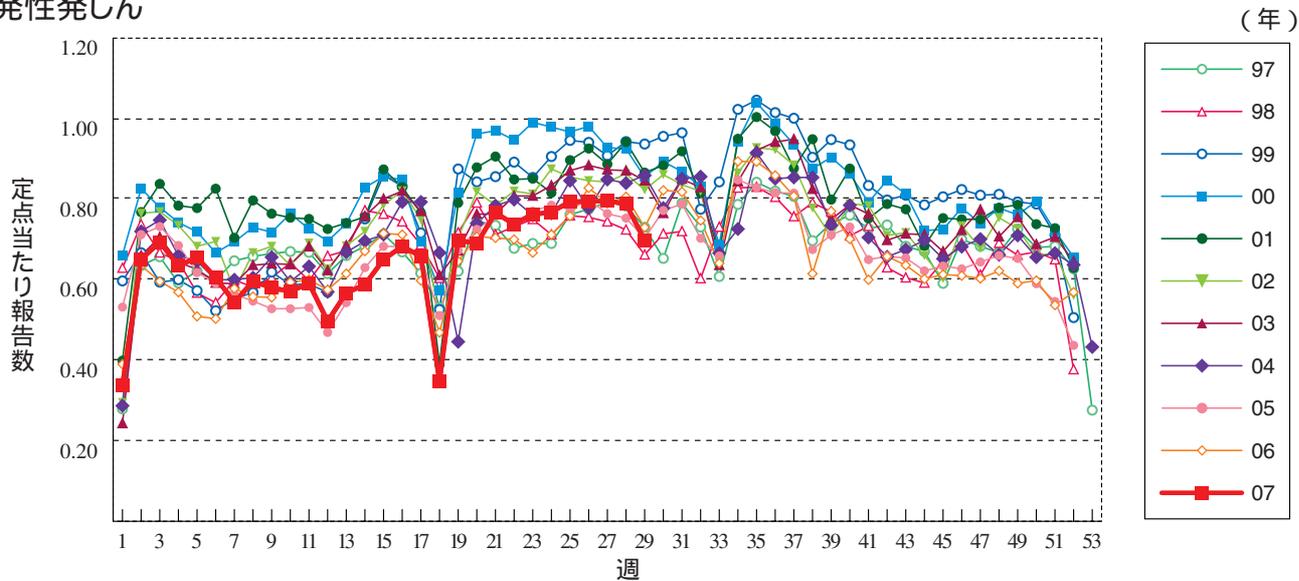
**手足口病**



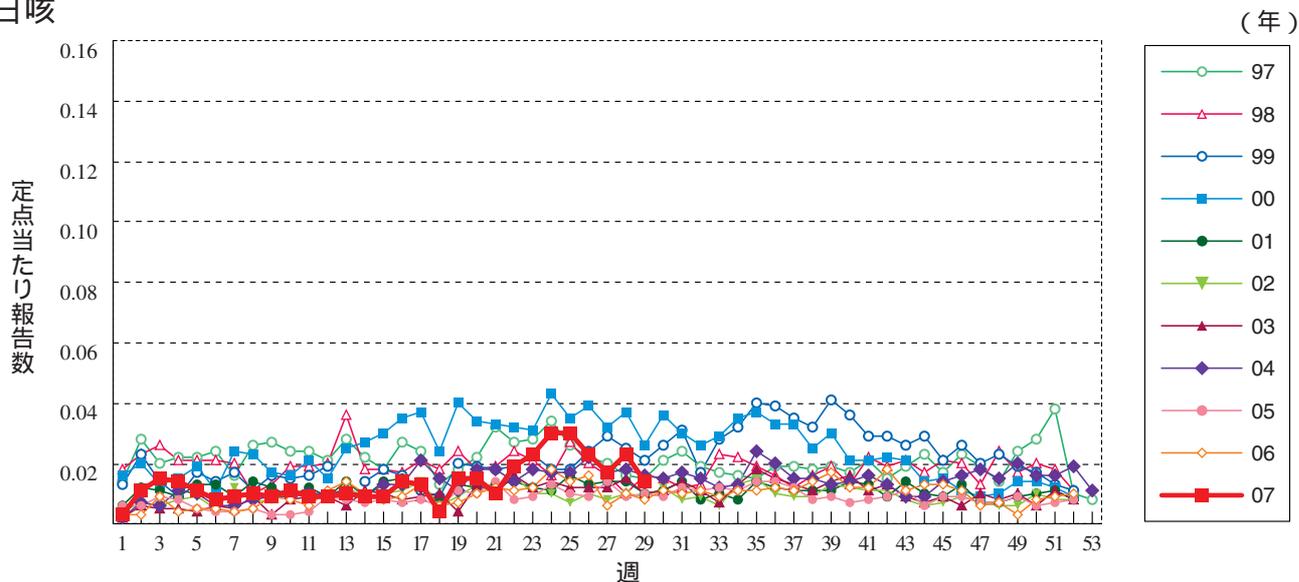
伝染性紅斑



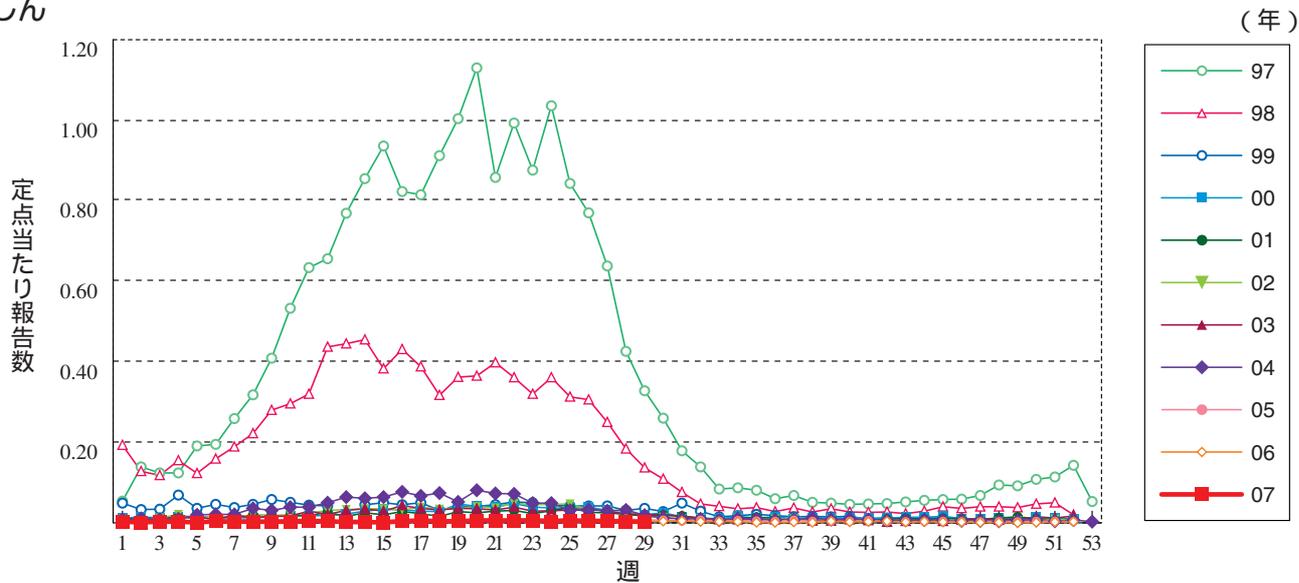
突発性発しん



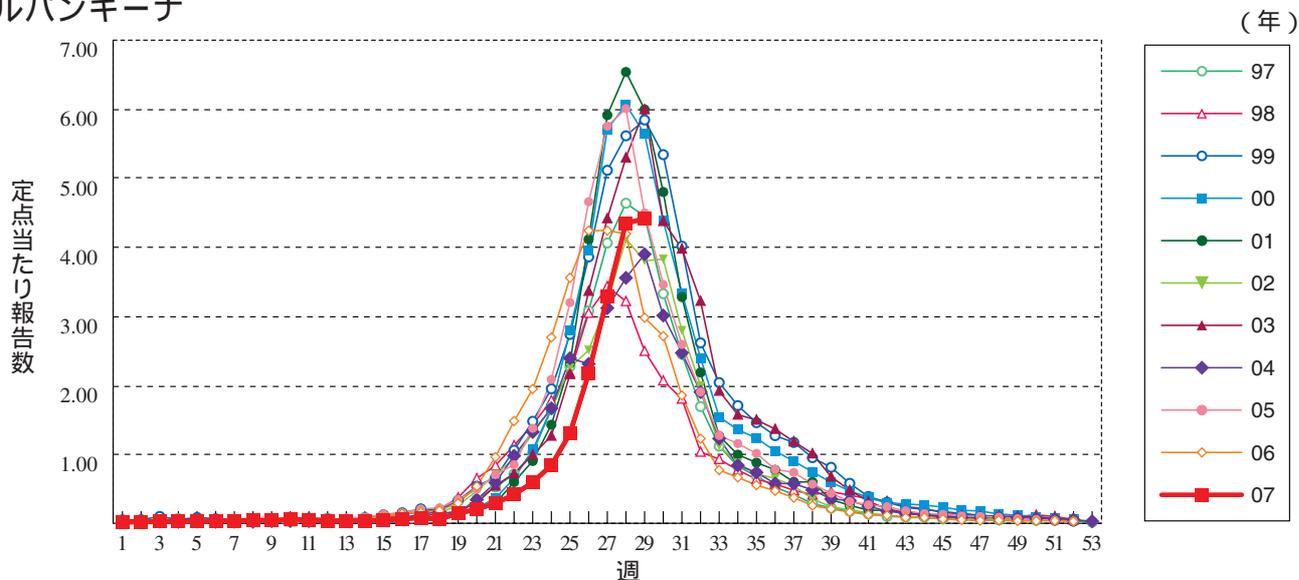
百日咳



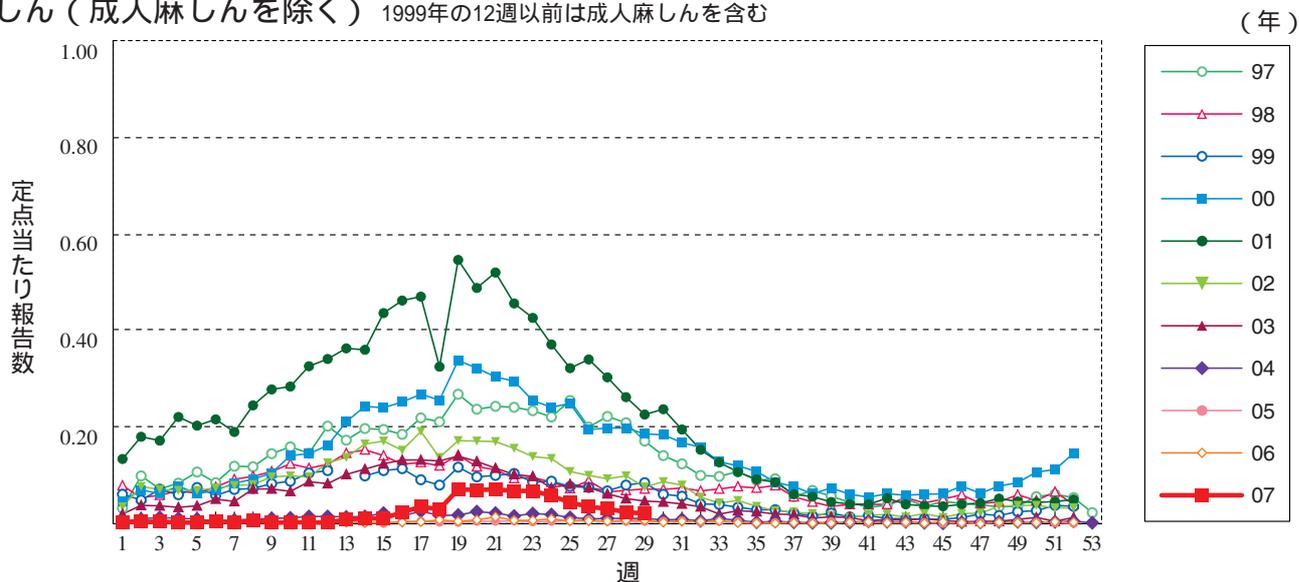
風しん



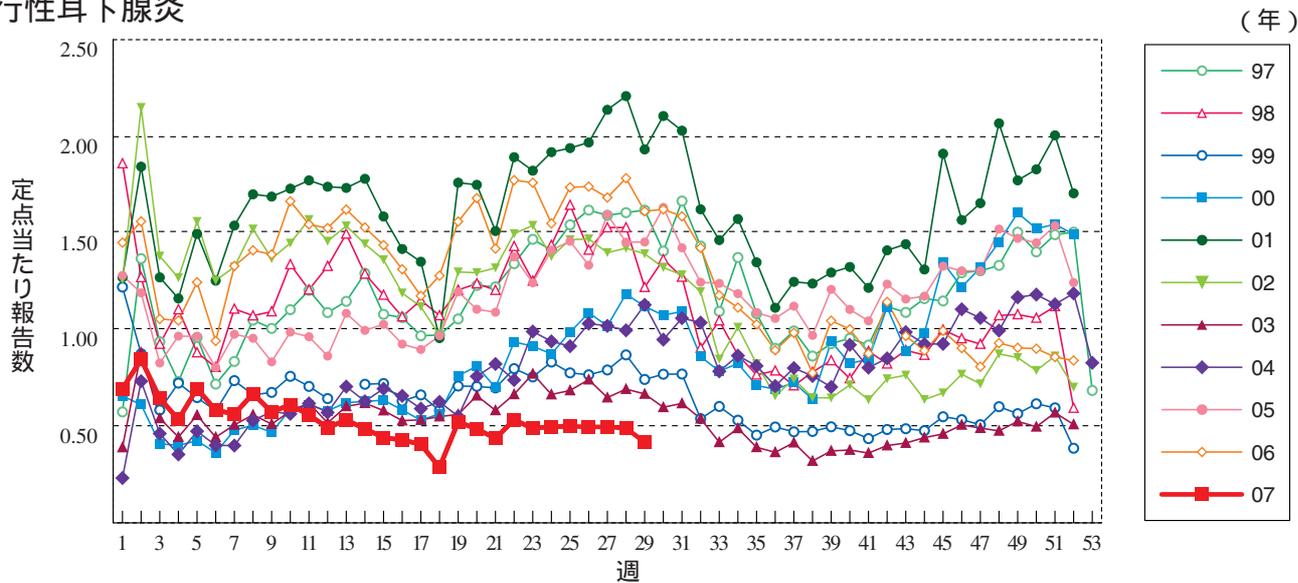
ヘルパンギーナ



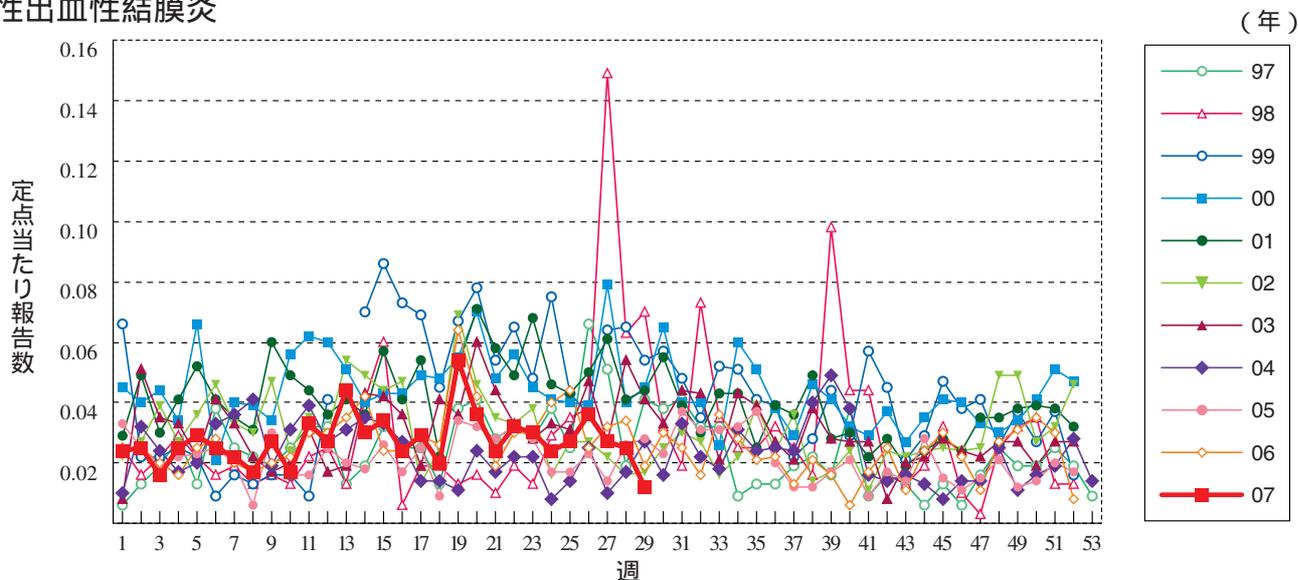
麻疹 (成人麻疹を除く) 1999年の12週以前は成人麻疹を含む



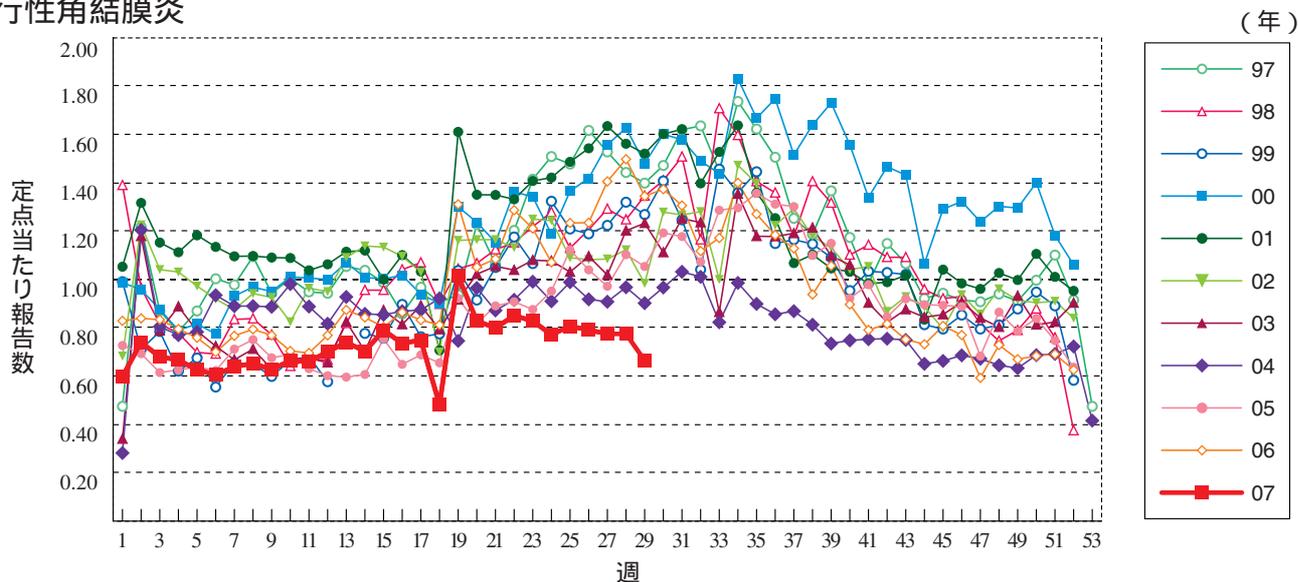
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

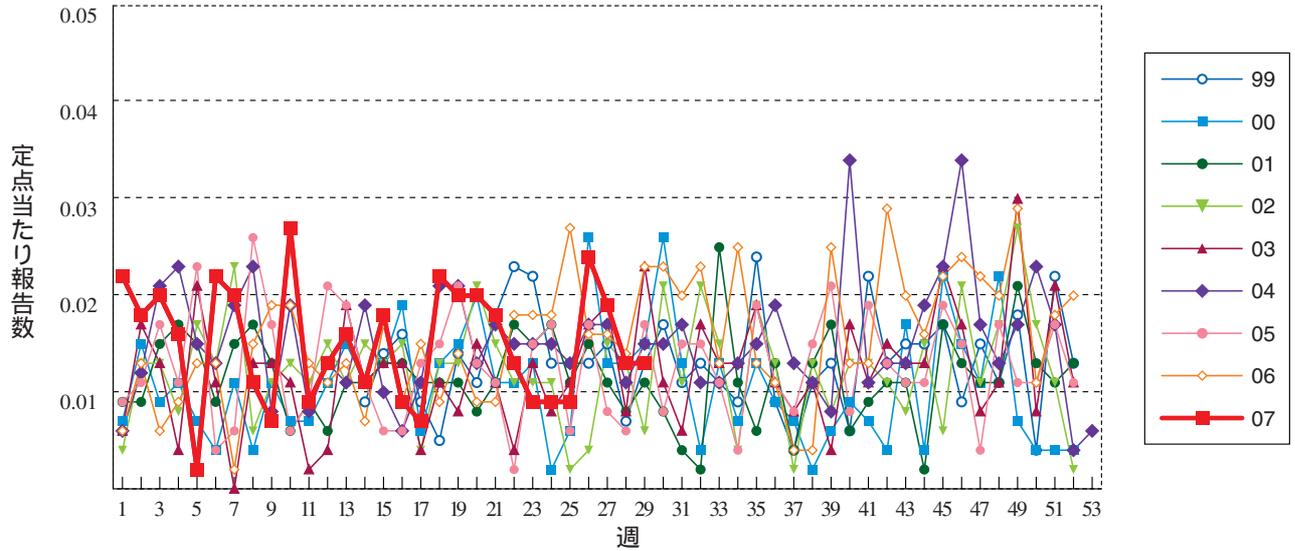


流行性角結膜炎



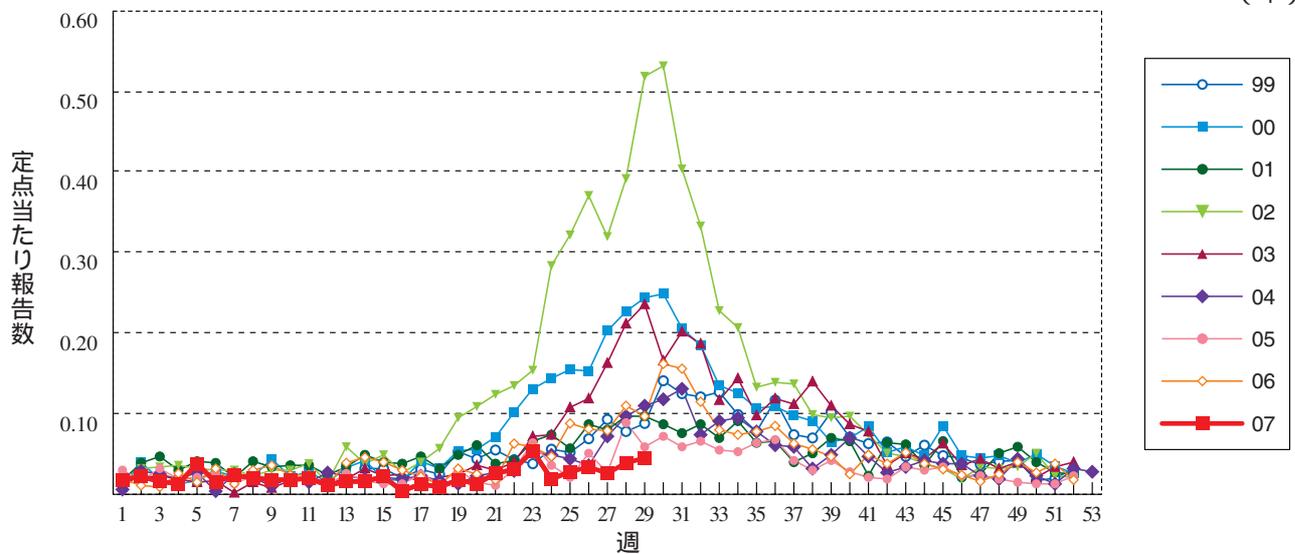
**細菌性髄膜炎**

(年)



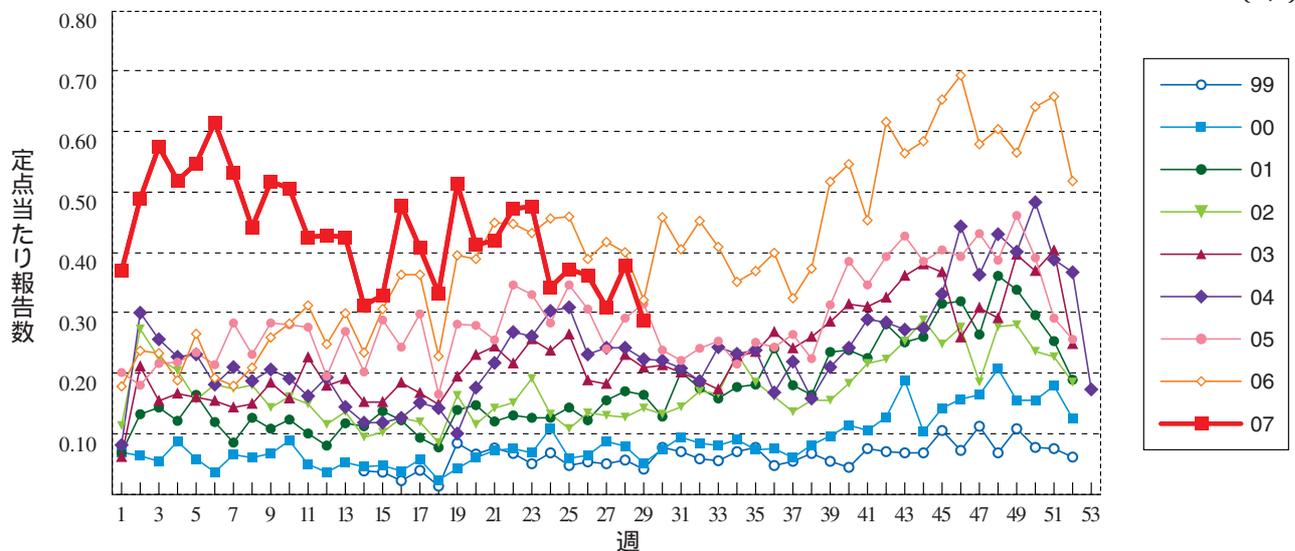
**無菌性髄膜炎**

(年)

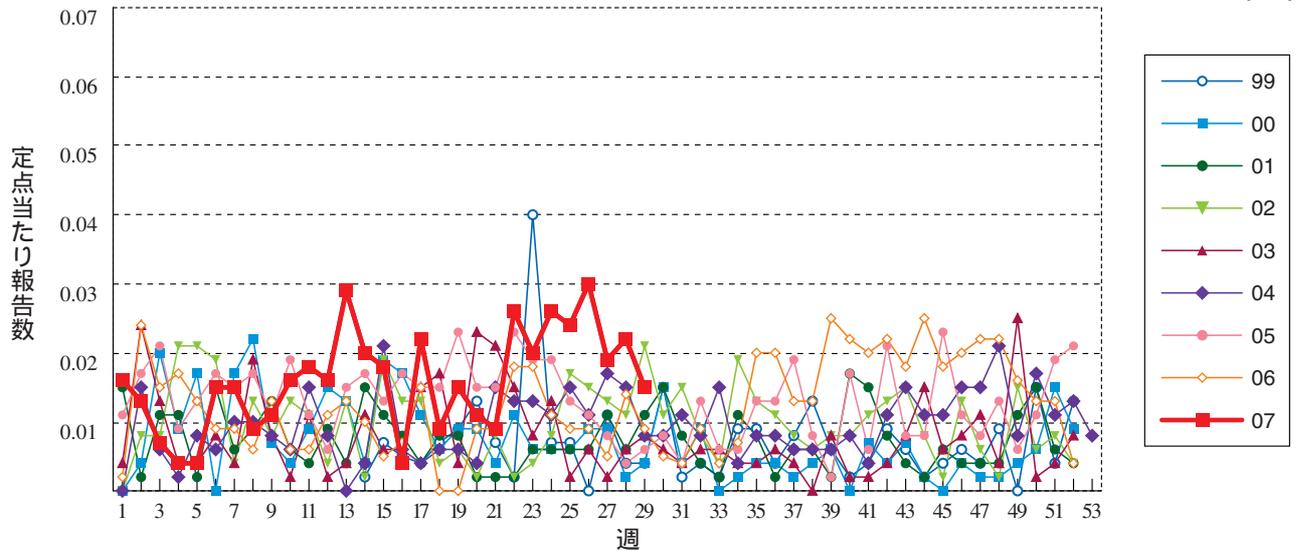


**マイコプラズマ肺炎**

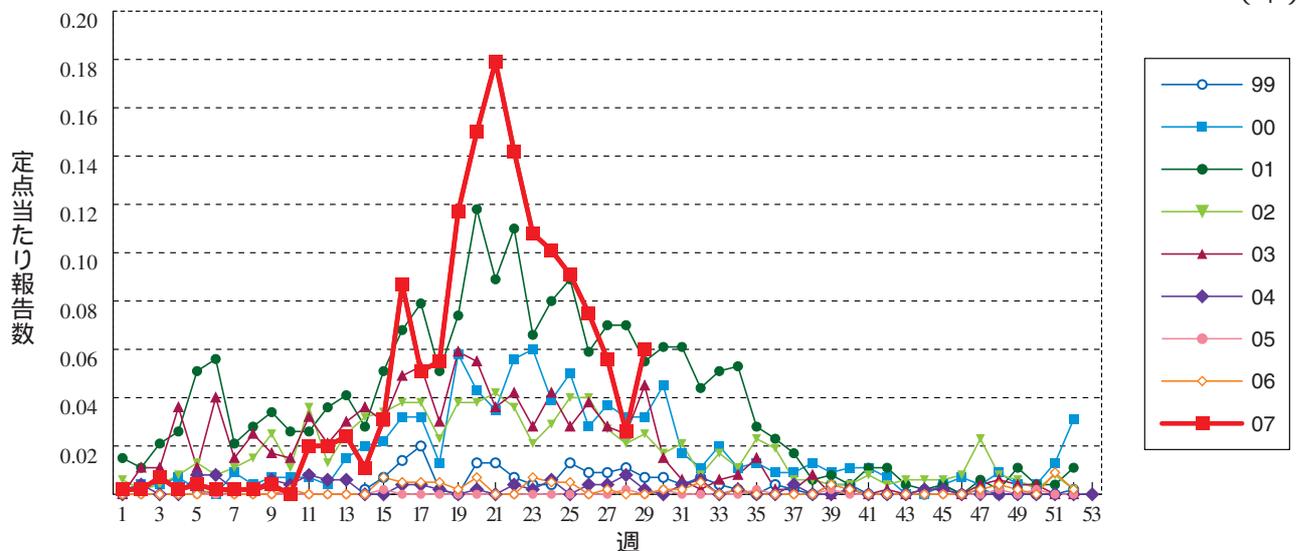
(年)



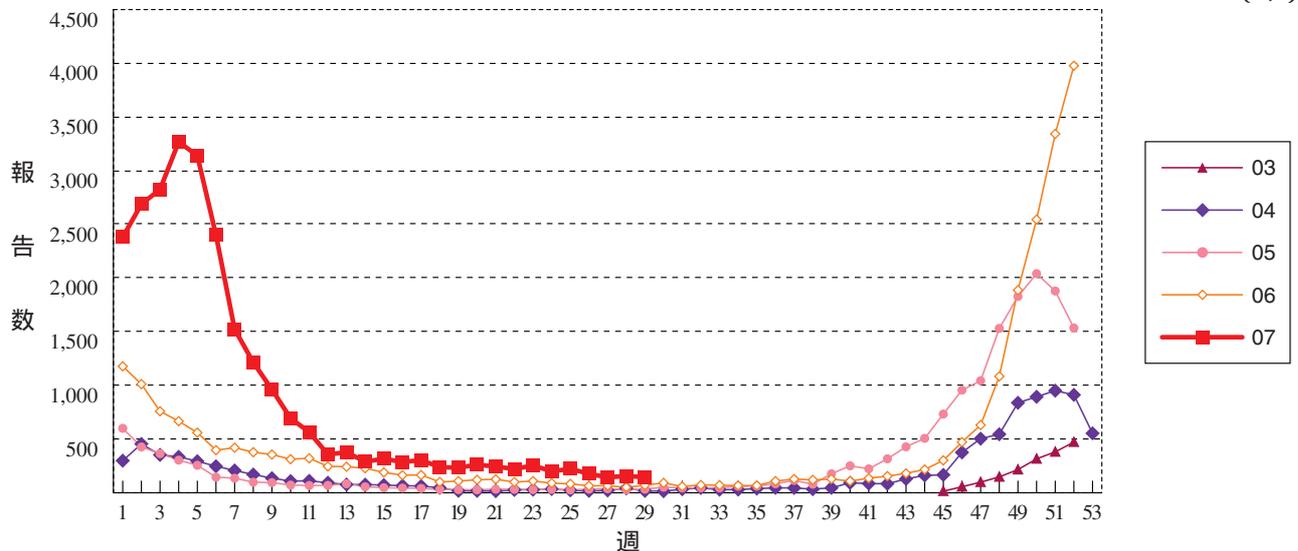
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)



成人麻しん



RSウイルス感染症 定点当たり報告数ではなく、報告数を示しています。





## 29週のデータ

注1) 表中の報告数は7月25日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されず、  
2007年4月からの法改正に伴い、疾病の追加および並び順を一部変更しました。

\*累積は2007年4月1日以降の報告数である。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2007年29週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		痘 そう		南米出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		急性灰白髄炎		結 核*	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	204	5834
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	152
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	83
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	43
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	91
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	42
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	37
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	63
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	140
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	94
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	62
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	299
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	404
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22	524
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	115
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	63
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	61
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	38
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	87
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	173
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	114
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	504
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	127
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	85
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	203
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	208
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	251
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	87
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	64
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	23
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	31
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	83
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	182
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	92
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	65
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	30
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	115
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	50
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19	416
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	67
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	98
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	67
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	60
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	74
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	124
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	32

\*病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2007年29週

	ジフテリア		重症急性呼吸器症候群*		コレラ		細菌性赤痢		腸管出血性大腸菌感染症		腸チフス		バラチフス		E型肝炎		ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	9	11	277	118	1538	-	18	-	8	-	31	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	2	1	16	-	1	-	-	-	6	-	-
青森県	-	-	-	-	-	1	-	2	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	15	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	1	5	28	-	1	-	-	-	2	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	3	2	7	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	2	2	7	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	2	-	1	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	3	2	15	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	1	1	17	-	-	-	-	-	1	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	1	4	32	-	-	-	-	-	1	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	2	-	39	3	77	-	1	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	1	-	32	6	71	-	-	-	1	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	2	1	45	12	293	-	4	-	2	-	2	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	12	10	70	-	-	-	1	-	1	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	14	-	1	-	-	-	1	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	3	23	-	-	-	1	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	69	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	1	1	20	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	2	8	1	21	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	1	1	13	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	11	2	16	-	-	-	-	-	3	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	21	2	37	-	1	-	-	-	7	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	1	1	7	-	1	-	-	-	4	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	17	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	5	2	21	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	2	-	46	18	110	-	4	-	1	-	1	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	1	-	3	9	66	-	2	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	1	1	17	-	-	-	1	-	2	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	2	2	13	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	17	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	3	2	33	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	8	14	2	39	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	3	1	20	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	4	6	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	3	2	13	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	4	2	80	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	13	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	3	22	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	56	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	45	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	34	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	20	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2007年29週

	A型肝炎		エキノコックス症		黄熱		オウム病		オムスク出血熱		回帰熱		キャサヌル森林病		Q熱		狂犬病	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	94	-	9	-	-	-	19	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
北海道	-	3	-	7	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	5	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	14	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	8	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	4	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	6	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	8	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	4	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
愛媛県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2007年29週

	コクシジ オイデス症		サル痘		腎症候性出血熱		西部ウマ脳炎		ダニ媒介脳炎		炭疽		つつが虫病		デング熱		東部ウマ脳炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	92	2	37	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	9	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-
千葉県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	4	-	-	-
東京都	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	7	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	1	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2007年29週

	鳥インフルエンザ		ニパウイルス感染症		日本紅斑熱		日本脳炎		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		鼻 疽		ブルセラ症		ベネズエラウマ脳炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	2	20	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	1	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2007年29週

	ヘンドラウイルス感染症		発しんチフス		ポツリヌス症		マラリア		野 兎 病		ライム病		リッサウイルス感染症		リフトバレー熱		類 鼻 疽	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	2	1	26	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

\*E型肝炎およびA型肝炎を除く。

\*\*ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ペネズエラウマ脳炎およびリフトバレー熱を除く。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2007年29週

	レジオネラ症		レプトスピラ症		ロッキー山 紅斑熱		アメーバ赤痢		ウイルス性肝炎*		急性脳炎**		クリプト スポリジウム症		クロイツフェルト ・ヤコブ病		劇症型溶血性 レンサ球菌感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	18	295	-	3	-	-	6	429	3	124	1	130	-	4	2	89	-	57
北海道	1	14	-	-	-	-	-	9	-	5	-	3	-	-	-	2	-	5
青森県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	1	-	-
岩手県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	7	-	-	-	-	-	16	-	2	-	2	-	-	-	-	-	2
秋田県	1	2	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
山形県	-	6	-	-	-	-	-	3	-	1	-	2	-	-	-	-	-	2
福島県	1	5	-	-	-	-	-	4	-	1	1	2	-	-	-	1	-	-
茨城県	-	6	-	-	-	-	-	6	-	2	-	7	-	-	-	1	-	2
栃木県	-	2	-	-	-	-	-	4	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	1	5	-	-	-	-	-	3	-	4	-	2	-	-	1	5	-	-
埼玉県	2	14	-	-	-	-	-	15	-	-	-	7	-	-	-	2	-	4
千葉県	-	12	-	-	-	-	-	13	-	-	-	13	-	-	-	4	-	1
東京都	3	23	-	2	-	-	1	93	1	23	-	7	-	-	-	7	-	3
神奈川県	1	21	-	-	-	-	1	51	-	5	-	3	-	1	1	5	-	7
新潟県	-	7	-	1	-	-	-	1	-	-	-	3	-	1	-	5	-	1
富山県	-	6	-	-	-	-	-	2	-	2	-	1	-	-	-	1	-	1
石川県	-	6	-	-	-	-	-	3	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-
福井県	-	1	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	2	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	1	8	-	-	-	-	1	7	-	1	-	3	-	-	-	-	-	1
岐阜県	-	11	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-
静岡県	3	17	-	-	-	-	-	14	-	1	-	1	-	-	-	2	-	1
愛知県	-	18	-	-	-	-	-	26	-	3	-	1	-	-	-	5	-	4
三重県	-	4	-	-	-	-	-	5	-	2	-	1	-	-	-	1	-	-
滋賀県	-	6	-	-	-	-	1	9	-	1	-	1	-	-	-	3	-	-
京都府	1	10	-	-	-	-	-	13	-	4	-	4	-	-	-	3	-	-
大阪府	-	17	-	-	-	-	1	42	1	16	-	19	-	-	-	6	-	3
兵庫県	-	10	-	-	-	-	1	24	-	8	-	5	-	-	-	5	-	2
奈良県	1	1	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	2	-	-	-	-	-	4	-	1	-	2	-	-	-	2	-	-
鳥取県	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	2
岡山県	-	4	-	-	-	-	-	5	-	7	-	1	-	-	-	1	-	2
広島県	-	11	-	-	-	-	-	6	1	6	-	2	-	1	-	3	-	3
山口県	-	4	-	-	-	-	-	3	-	-	-	5	-	-	-	2	-	-
徳島県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
愛媛県	2	3	-	-	-	-	-	2	-	1	-	1	-	-	-	5	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	-	-	-	-	-	3	-	1
福岡県	-	9	-	-	-	-	-	15	-	6	-	6	-	1	-	3	-	2
佐賀県	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1
長崎県	-	2	-	-	-	-	-	2	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	5	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-
大分県	-	3	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	14	-	-	-	1	-	-
鹿児島県	-	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	5	-	-	-	1	-	3
沖縄県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2007年29週

	後天性免疫不全 症候群		ジアルジア症		髄膜炎菌性 髄膜炎		先天性風しん 症候群		梅 毒		破 傷 風		バンコマイシン耐性 黄色ブドウ球菌感染症		バンコマイシン耐性 腸球菌感染症		インフルエンザ (H5N1)	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	14	778	-	27	-	11	-	-	9	354	1	50	-	-	2	40	-	-
北海道	-	9	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	1	-	-
青森県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-
岩手県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
宮城県	1	8	-	-	-	1	-	-	-	7	-	1	-	-	-	-	-	-
秋田県	1	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
山形県	-	4	-	-	-	1	-	-	1	4	-	1	-	-	-	-	-	-
福島県	-	5	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	2	-	-
茨城県	-	10	-	-	-	-	-	-	-	10	1	3	-	-	-	1	-	-
栃木県	-	12	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	11	-	-	-	1	-	-	-	3	-	5	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	15	-	-	-	-	-	-	-	12	-	1	-	-	-	1	-	-
千葉県	1	25	-	3	-	1	-	-	-	12	-	3	-	-	-	-	-	-
東京都	4	260	-	10	-	1	-	-	2	69	-	1	-	-	1	9	-	-
神奈川県	2	54	-	5	-	-	-	-	2	22	-	2	-	-	1	11	-	-
新潟県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-
長野県	-	10	-	-	-	-	-	-	-	9	-	2	-	-	-	2	-	-
岐阜県	-	7	-	-	-	-	-	-	-	7	-	1	-	-	-	3	-	-
静岡県	-	23	-	-	-	-	-	-	2	8	-	2	-	-	-	1	-	-
愛知県	1	80	-	-	-	1	-	-	-	34	-	-	-	-	-	2	-	-
三重県	-	8	-	1	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	11	-	1	-	-	-	-	-	6	-	2	-	-	-	1	-	-
大阪府	-	102	-	4	-	-	-	-	-	19	-	1	-	-	-	1	-	-
兵庫県	-	9	-	-	-	1	-	-	-	6	-	-	-	-	-	2	-	-
奈良県	1	7	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	4	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	5	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	1	9	-	1	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	20	-	-	-	1	-	-	1	25	-	1	-	-	-	1	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	4	-	5	-	-	-	-	-	-
熊本県	1	5	-	-	-	-	-	-	-	22	-	3	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	3	-	-	-	1	-	-	-	8	-	3	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	1	4	-	-	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	17	-	-	-	1	-	-	-	5	-	2	-	-	-	-	-	-

\*高病原性鳥インフルエンザを除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2007年29週

	インフルエンザ*		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水 痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百 日 咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	815	0.18	1271	0.42	3915	1.30	9897	3.28	2878	0.95	5539	1.83	2167	0.72	2109	0.70	43	0.01
北海道	4	0.02	65	0.46	296	2.08	272	1.92	179	1.26	15	0.11	120	0.85	84	0.59	4	0.03
青森県	1	0.02	30	0.71	45	1.07	70	1.67	39	0.93	13	0.31	14	0.33	23	0.55	-	-
岩手県	5	0.08	9	0.23	31	0.79	91	2.33	45	1.15	69	1.77	37	0.95	22	0.56	-	-
宮城県	17	0.18	29	0.48	78	1.30	211	3.52	107	1.78	23	0.38	143	2.38	44	0.73	-	-
秋田県	-	-	14	0.40	46	1.31	61	1.74	24	0.69	113	3.23	31	0.89	20	0.57	-	-
山形県	-	-	20	0.67	64	2.13	79	2.63	40	1.33	113	3.77	26	0.87	31	1.03	-	-
福島県	24	0.30	14	0.29	58	1.21	129	2.69	54	1.13	321	6.69	19	0.40	42	0.88	-	-
茨城県	4	0.03	8	0.11	147	1.96	156	2.08	43	0.57	131	1.75	16	0.21	18	0.24	-	-
栃木県	-	-	11	0.23	56	1.19	61	1.30	30	0.64	78	1.66	29	0.62	33	0.70	3	0.06
群馬県	-	-	11	0.18	90	1.48	184	3.02	40	0.66	27	0.44	70	1.15	28	0.46	-	-
埼玉県	1	0.00	138	0.90	407	2.64	687	4.46	169	1.10	354	2.30	93	0.60	131	0.85	1	0.01
千葉県	-	-	49	0.39	167	1.33	423	3.36	121	0.96	532	4.22	108	0.86	110	0.87	2	0.02
東京都	4	0.01	75	0.51	210	1.42	551	3.72	104	0.70	364	2.46	70	0.47	95	0.64	-	-
神奈川県	-	-	60	0.30	264	1.32	654	3.27	195	0.98	295	1.48	108	0.54	176	0.88	4	0.02
新潟県	-	-	30	0.51	71	1.20	114	1.93	80	1.36	74	1.25	146	2.47	47	0.80	1	0.02
富山県	-	-	20	0.69	54	1.86	93	3.21	28	0.97	36	1.24	19	0.66	11	0.38	-	-
石川県	-	-	7	0.24	38	1.31	126	4.34	22	0.76	15	0.52	38	1.31	20	0.69	-	-
福井県	-	-	11	0.50	28	1.27	145	6.59	32	1.45	23	1.05	25	1.14	17	0.77	-	-
山梨県	-	-	3	0.13	22	0.92	46	1.92	10	0.42	26	1.08	28	1.17	9	0.38	-	-
長野県	-	-	42	0.76	67	1.22	184	3.35	83	1.51	63	1.15	206	3.75	41	0.75	-	-
岐阜県	-	-	26	0.49	40	0.75	85	1.60	28	0.53	14	0.26	31	0.58	17	0.32	-	-
静岡県	4	0.03	25	0.29	131	1.52	402	4.67	67	0.78	95	1.10	49	0.57	53	0.62	4	0.05
愛知県	-	-	60	0.33	239	1.32	559	3.09	187	1.03	220	1.22	111	0.61	154	0.85	-	-
三重県	-	-	17	0.38	43	0.96	212	4.71	37	0.82	71	1.58	25	0.56	32	0.71	1	0.02
滋賀県	-	-	26	0.81	21	0.66	155	4.84	29	0.91	39	1.22	17	0.53	17	0.53	-	-
京都府	-	-	19	0.25	48	0.64	283	3.77	46	0.61	35	0.47	24	0.32	47	0.63	4	0.05
大阪府	7	0.03	83	0.43	292	1.50	745	3.82	218	1.12	322	1.65	132	0.68	109	0.56	6	0.03
兵庫県	-	-	59	0.46	90	0.70	488	3.78	145	1.12	135	1.05	55	0.43	84	0.65	1	0.01
奈良県	-	-	14	0.40	21	0.60	84	2.40	20	0.57	14	0.40	30	0.86	15	0.43	-	-
和歌山県	-	-	5	0.16	21	0.68	67	2.16	18	0.58	425	13.71	20	0.65	18	0.58	-	-
鳥取県	2	0.07	11	0.58	29	1.53	88	4.63	13	0.68	12	0.63	18	0.95	12	0.63	-	-
島根県	-	-	8	0.35	36	1.57	108	4.70	17	0.74	25	1.09	-	-	8	0.35	-	-
岡山県	-	-	14	0.26	15	0.28	182	3.37	34	0.63	10	0.19	20	0.37	27	0.50	1	0.02
広島県	-	-	38	0.53	73	1.01	214	2.97	64	0.89	45	0.63	27	0.38	57	0.79	-	-
山口県	-	-	30	0.61	56	1.14	183	3.73	48	0.98	31	0.63	55	1.12	48	0.98	1	0.02
徳島県	-	-	4	0.17	11	0.48	62	2.70	27	1.17	24	1.04	12	0.52	15	0.65	1	0.04
香川県	2	0.04	3	0.10	8	0.28	76	2.62	12	0.41	3	0.10	14	0.48	18	0.62	-	-
愛媛県	1	0.02	12	0.32	49	1.32	153	4.14	46	1.24	16	0.43	39	1.05	43	1.16	1	0.03
高知県	-	-	19	0.63	8	0.27	57	1.90	20	0.67	14	0.47	42	1.40	12	0.40	1	0.03
福岡県	4	0.02	53	0.44	124	1.03	509	4.24	138	1.15	572	4.77	40	0.33	117	0.98	4	0.03
佐賀県	-	-	7	0.30	17	0.74	39	1.70	20	0.87	90	3.91	1	0.04	26	1.13	-	-
長崎県	-	-	17	0.39	32	0.73	96	2.18	27	0.61	91	2.07	2	0.05	19	0.43	-	-
熊本県	6	0.08	13	0.27	43	0.90	144	3.00	52	1.08	210	4.38	7	0.15	39	0.81	1	0.02
大分県	2	0.03	21	0.58	51	1.42	264	7.33	25	0.69	102	2.83	21	0.58	30	0.83	-	-
宮崎県	19	0.32	22	0.61	66	1.83	171	4.75	39	1.08	99	2.75	10	0.28	50	1.39	-	-
鹿児島県	6	0.06	17	0.30	89	1.59	120	2.14	36	0.64	135	2.41	13	0.23	19	0.34	1	0.02
沖縄県	702	12.10	2	0.06	23	0.68	14	0.41	20	0.59	5	0.15	6	0.18	21	0.62	1	0.03

\*髄膜炎菌性髄膜炎は除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2007年29週

	風しん		ヘルパンギーナ		麻しん (成人麻しんを除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎*		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ 肺炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	15	0.00	13328	4.41	81	0.03	1258	0.42	8	0.01	442	0.66	6	0.01	21	0.05	134	0.29
北海道	-	-	79	0.56	1	0.01	25	0.18	-	-	41	1.41	-	-	-	-	3	0.13
青森県	-	-	141	3.36	2	0.05	30	0.71	-	-	2	0.18	-	-	-	-	5	0.83
岩手県	-	-	23	0.59	1	0.03	36	0.92	-	-	9	0.75	-	-	-	-	11	0.55
宮城県	-	-	99	1.65	2	0.03	25	0.42	-	-	1	0.08	-	-	-	-	16	1.33
秋田県	-	-	28	0.80	-	-	31	0.89	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	45	1.50	-	-	2	0.07	-	-	1	0.13	2	0.20	1	0.10	1	0.10
福島県	-	-	97	2.02	-	-	35	0.73	-	-	12	1.00	-	-	-	-	14	2.00
茨城県	6	0.08	209	2.79	2	0.03	19	0.25	3	0.18	12	0.71	-	-	-	-	3	0.23
栃木県	-	-	236	5.02	1	0.02	10	0.21	-	-	8	0.67	-	-	-	-	6	0.86
群馬県	-	-	239	3.92	-	-	40	0.66	-	-	12	0.86	1	0.13	-	-	4	0.50
埼玉県	-	-	645	4.19	7	0.05	53	0.34	-	-	35	0.83	-	-	-	-	4	0.44
千葉県	-	-	369	2.93	1	0.01	41	0.33	-	-	22	0.69	-	-	2	0.22	1	0.11
東京都	-	-	894	6.04	5	0.03	61	0.41	-	-	12	0.31	-	-	3	0.12	2	0.08
神奈川県	-	-	1195	5.98	7	0.04	56	0.28	1	0.03	42	1.08	-	-	1	0.13	-	-
新潟県	-	-	104	1.76	-	-	41	0.69	-	-	5	0.50	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	143	4.93	-	-	23	0.79	-	-	5	0.71	-	-	-	-	2	0.40
石川県	-	-	130	4.48	-	-	8	0.28	-	-	3	0.43	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	182	8.27	-	-	4	0.18	-	-	-	-	1	0.17	-	-	2	0.33
山梨県	-	-	15	0.63	1	0.04	2	0.08	-	-	3	0.33	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	88	1.60	-	-	16	0.29	-	-	2	0.18	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	243	4.58	1	0.02	6	0.11	-	-	4	0.36	-	-	-	-	2	0.40
静岡県	-	-	268	3.12	3	0.03	43	0.50	-	-	18	0.90	-	-	1	0.11	4	0.44
愛知県	-	-	1041	5.75	-	-	76	0.42	-	-	8	0.24	-	-	2	0.13	3	0.19
三重県	-	-	442	9.82	-	-	27	0.60	-	-	1	0.08	-	-	-	-	1	0.11
滋賀県	-	-	155	4.84	-	-	15	0.47	-	-	2	0.29	-	-	-	-	1	0.14
京都府	2	0.03	342	4.56	18	0.24	16	0.21	-	-	9	0.50	-	-	-	-	-	-
大阪府	2	0.01	1323	6.78	15	0.08	91	0.47	-	-	14	0.32	-	-	1	0.07	6	0.43
兵庫県	-	-	1086	8.42	-	-	79	0.61	-	-	19	0.54	-	-	2	0.17	-	-
奈良県	-	-	138	3.94	2	0.06	12	0.34	-	-	3	0.33	-	-	3	0.50	-	-
和歌山県	-	-	62	2.00	-	-	6	0.19	-	-	1	0.25	-	-	-	-	2	0.18
鳥取県	-	-	66	3.47	-	-	3	0.16	-	-	1	0.33	-	-	-	-	1	0.20
島根県	-	-	92	4.00	-	-	5	0.22	-	-	-	-	1	0.13	1	0.13	-	-
岡山県	1	0.02	135	2.50	1	0.02	16	0.30	1	0.08	25	2.08	1	0.20	-	-	-	-
広島県	-	-	201	2.79	2	0.03	13	0.18	1	0.05	10	0.53	-	-	1	0.05	8	0.38
山口県	-	-	189	3.86	-	-	21	0.43	-	-	2	0.22	-	-	-	-	3	0.33
徳島県	-	-	194	8.43	1	0.04	4	0.17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	119	4.10	-	-	4	0.14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	278	7.51	-	-	36	0.97	-	-	17	2.13	-	-	-	-	2	0.33
高知県	-	-	94	3.13	-	-	24	0.80	-	-	6	2.00	-	-	-	-	1	0.14
福岡県	2	0.02	627	5.23	7	0.06	78	0.65	2	0.08	16	0.62	-	-	-	-	2	0.14
佐賀県	-	-	101	4.39	-	-	5	0.22	-	-	-	-	-	-	1	0.17	3	0.50
長崎県	-	-	81	1.84	-	-	12	0.27	-	-	1	0.13	-	-	-	-	1	0.08
熊本県	-	-	226	4.71	-	-	15	0.31	-	-	24	2.67	-	-	1	0.07	1	0.07
大分県	2	0.06	235	6.53	1	0.03	34	0.94	-	-	5	1.00	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	309	8.58	-	-	37	1.03	-	-	10	1.67	-	-	1	0.14	-	-
鹿児島県	-	-	309	5.52	-	-	16	0.29	-	-	3	0.43	-	-	-	-	1	0.08
沖縄県	-	-	11	0.32	-	-	6	0.18	-	-	16	1.60	-	-	-	-	18	2.57

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 2007年29週

	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻しん		RSウイルス 感染症
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数
総 数	7	0.02	28	0.06	145
北海道	-	-	1	0.04	16
青森県	-	-	-	-	1
岩手県	-	-	1	0.05	4
宮城県	-	-	3	0.25	1
秋田県	-	-	1	0.13	-
山形県	-	-	1	0.10	-
福島県	1	0.14	-	-	21
茨城県	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	2
群馬県	-	-	1	0.13	2
埼玉県	-	-	1	0.11	1
千葉県	2	0.22	2	0.22	-
東京都	2	0.08	3	0.12	3
神奈川県	-	-	3	0.38	3
新潟県	1	0.08	1	0.08	1
富山県	-	-	-	-	1
石川県	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	1
静岡県	-	-	-	-	-
愛知県	1	0.06	1	0.06	1
三重県	-	-	-	-	3
滋賀県	-	-	-	-	1
京都府	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	2	0.14	17
兵庫県	-	-	-	-	1
奈良県	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	12
鳥取県	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	10
広島県	-	-	1	0.05	6
山口県	-	-	-	-	3
徳島県	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	4
愛媛県	-	-	-	-	1
高知県	-	-	-	-	1
福岡県	-	-	6	0.43	11
佐賀県	-	-	-	-	1
長崎県	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	3
鹿児島県	-	-	-	-	1
沖縄県	-	-	-	-	12

## 獣医師が届出を行う感染症と対象動物

注) 報告数は感染実験等の学術的研究による発生を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2007年29週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペスト		重症急性呼吸器症候群 (SARS)						細菌性赤痢		ウエストナイル熱		エキノコックス症	
	サル		サル		プレーリードッグ	イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		鳥類		犬		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別 2007年29週

	インフルエンザ(H5N1)	
	鳥類	
	報告数	累積
総 数	-	5
北海道	-	-
青森県	-	-
岩手県	-	-
宮城県	-	-
秋田県	-	-
山形県	-	-
福島県	-	-
茨城県	-	-
栃木県	-	-
群馬県	-	-
埼玉県	-	-
千葉県	-	-
東京都	-	-
神奈川県	-	-
新潟県	-	-
富山県	-	-
石川県	-	-
福井県	-	-
山梨県	-	-
長野県	-	-
岐阜県	-	-
静岡県	-	-
愛知県	-	-
三重県	-	-
滋賀県	-	-
京都府	-	-
大阪府	-	-
兵庫県	-	-
奈良県	-	-
和歌山県	-	-
鳥取県	-	-
島根県	-	-
岡山県	-	1
広島県	-	-
山口県	-	-
徳島県	-	-
香川県	-	-
愛媛県	-	-
高知県	-	-
福岡県	-	-
佐賀県	-	-
長崎県	-	-
熊本県	-	1
大分県	-	-
宮崎県	-	3
鹿児島県	-	-
沖縄県	-	-

感染症週報 第9巻 第29号 2007年8月3日発行  
 発行：国立感染症研究所  
 厚生労働省健康局結核感染症課  
 厚生労働省大臣官房統計情報部  
 事務局：国立感染症研究所感染症情報センター  
 〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1  
 T E L : 03-5285-1111  
 F A X : 03-5285-1129  
 U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>  
 < 国立感染症研究所 感染症情報センター >  
<http://www.mhlw.go.jp/>  
 < 厚生労働省 >  
<http://www.forth.go.jp/>  
 < 旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所) >

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。